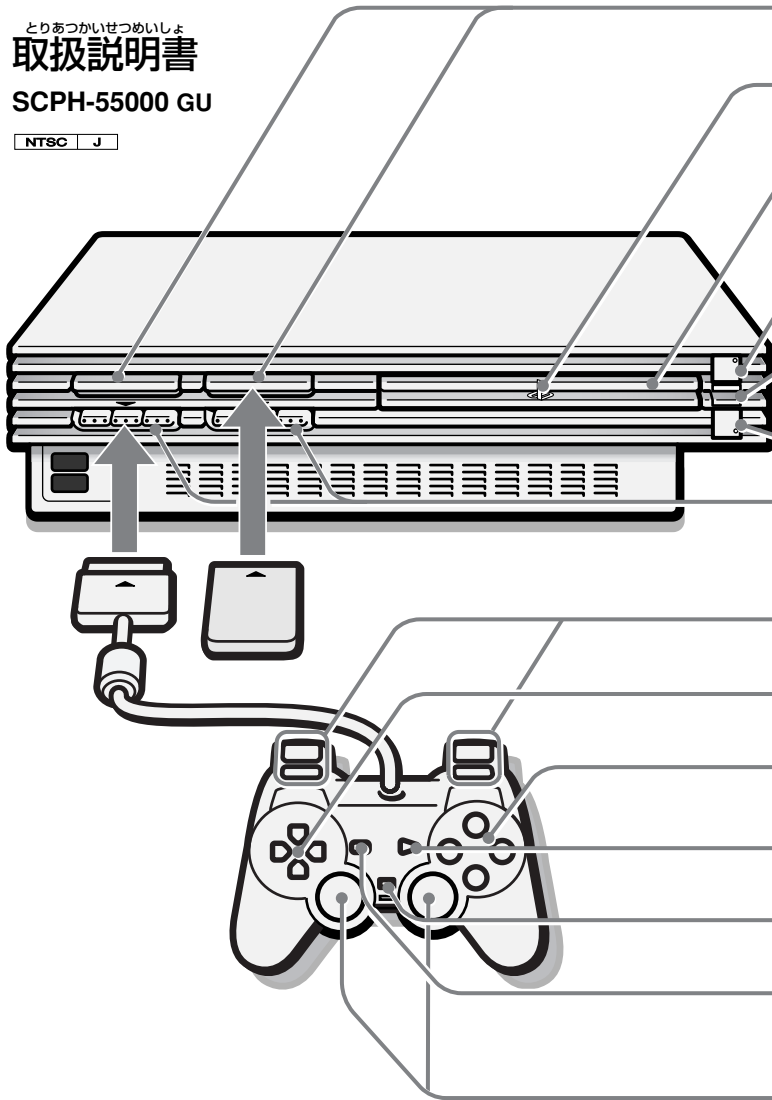
SONY

PlayStation®2

取扱説明書

SCPH-55000 GU

NTSC J

MEMORY CARD差込口

"PS" ファミリー エンブレム

ディスクトレイ

⏻（オン/スタンバイ）/RESETボタン、⏻（オン/スタンバイ）ランプ

受光部

⏏（オープン）ボタン、⏏（オープン）ランプ

コントローラ端子

L2ボタン、R2ボタン
L1ボタン、R1ボタン

方向キー上、下、左、右

△ボタン、○ボタン、×ボタン、□ボタン

STARTボタン

ANALOGモードスイッチ

SELECTボタン

左スティック、右スティック
L3ボタン、R3ボタン

お買い上げいただきありがとうございます。
本機では、"PlayStation 2"規格DVD-ROMおよびCD-ROM、"PlayStation"規格CD-ROM、音楽CD、DVDビデオ、DVD-RW（VRモード）の再生をお楽しみいただけます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故を起こすことがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。特に**「安全のために」**（2ページ）**は必ずご覧ください。**

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。
小さなお子さまには、保護者の方がお読みのうえ、安全にお使いください。

3-088-682-**01**(1) A

⚠警告

安全のために

本機は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故が起こることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4〜9ページの注意事項をよくお読みください。
本機の安全上の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

設置するとき、また一年に一度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源コードのプラグの間や前面通風孔および背面通風孔（ファン）にほこりがたまっていないか、電源プラグがしっかり差し込まれているかなどを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットなどが破損していることに気づいたら、すぐにインフォメーションセンターにお問い合わせください。
また、電源コードが破損していることに気づいたら、新しい電源コード（SCPH-10050）をお買い求めのうえ、交換してください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたり、煙が出たら

❶ 電源コードのプラグをコンセントから抜く。

❷ インフォメーションセンターに問い合わせる。

炎が出たら

- 電源コードのプラグをコンセントから抜くか、ブレーカーを落とす。
- 大声で応援の人を呼ぶ。
- 水をどんどんかけるか、消火器を使って火を消す。
- 119番に通報する。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などによる死亡や大けがなど、人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故により、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

指挟み

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

接触禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

目次

12 設置と準備
22 ゲームをする
27 音楽CDを聞く
29 DVDビデオを見る
47 その他

⚠注意 健康のためのご注意

本機の使用について

本機を使用するときは、部屋を明るくし、なるべく画面から離れてください。

光の刺激によって、筋肉のけいれんや意識の喪失などを起こしたことのある方は、使用前に医師と相談する

ごくまれに、強い光の刺激を受けたり、点滅を繰り返すテレビ画面をみていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいるという報告があります。こうした症状のある方は、事前に必ず医師に相談してください。また、本機の使用中にこのような症状が起きた場合は、すぐに使用を中止して医師の診断を受けてください。

指示

長時間、連続して使用しない（目や耳を守るために）

- 1時間ごとに15分程度の休憩を取ってください。
- 疲れているときや睡眠不足のときは、ご使用を避けてください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にテレビにヘッドホンをつないで聞くときは、ご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

禁止

疲れたり、気分が悪くなったら、すぐに使用を中止する

次のような自覚症状を感じたら、すぐに本機の使用を中止してください。
使用を中止しても治らないときは、医師の診察を受けてください。

- めまい、吐き気、乗り物酔いのような症状。
- 手や腕の疲れ、不快感、痛み。
- 目の疲れ、乾燥、痛み。

指示

アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）の使用について

頭やひじなどに当てて使用しない*1

頭やひじ、ひざなど骨のある部分および顔や腹部など身体に当てて使用すると、バイブレーション（振動）機能の振動により体に悪影響を与えることがあります。

禁止

骨や関節、指や手などに疾患のある方は、バイブレーション（振動）機能を絶対に使用しない*1

骨や関節に疾患のある方や、指や手、手首、腕などの骨折、脱臼、肉離れ、ねんざなどを起こしているときは、振動機能を絶対に使わないでください。振動によって症状が悪化することがあります。

禁止

長時間使用しない*2

長時間継続して使用すると、腕や手首が痛くなることがあります。使用中に体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用を中止して休憩を取ってください。
しばらくしても治らないときは医師の診察を受けてください。特に振動機能を使って、長い時間連続して遊ばないでください。目安として30分ごとに休憩を取ってください。

禁止

*1 アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）以外のバイブレーション（振動）機能がついたコントローラを使用した場合も同様です。
*2 アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）以外のコントローラを使用した場合も同様です。

なお、他社のコントローラについては、コントローラに付属の取扱説明書をご覧いただくか、発売元にお問い合わせください。

下記の注意を守らないと、**火災・感電**による**死亡や大けが**の原因となります。

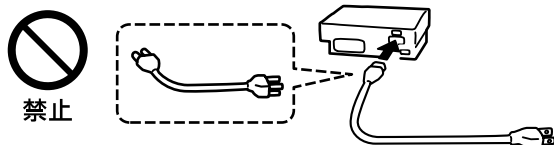
電源コードを傷つけない

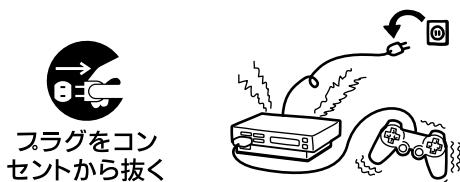
電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
万一、電源コードが傷ついたら、新しい電源コード（SCPH-10050）をお買い求めのうえ、交換してください。

- "PlayStation 2"本体（以下「本体」）と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 電源プラグおよび電源コードは、幼児の口や手に触れさせたりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 重い物を載せたり、引っ張ったりしない。
- 本機を移動するときは電源プラグを抜く。
- 電源コードを抜くときは、必ず電源プラグを持ってまっすぐ抜く。（電源プラグをななめに抜いたり、コードを引っ張ったりしない。）

禁止

本機専用の電源コード（SCPH-10050）以外は使用しない

火災や感電の原因となります。

異常を感じたらすぐに使用を中止する

本体や周辺機器から異常な音がしたり、本体が異常に熱くなったり、アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）、アナログコントローラ（DUALSHOCK）が振動しつづけたりするなどの異常を感じたときはすぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてインフォメーションセンターにご相談ください。
そのまま使用をつづけると火災や感電の原因となります。

プラグをコンセントから抜く

キャビネットを開けたり、分解や改造をしない

火災や感電、けがの原因となります。

分解禁止

内部（端子類、通風孔、ディスクトレイなど）に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源コードのプラグをコンセントから抜いて、インフォメーションセンターにご相談ください。

禁止

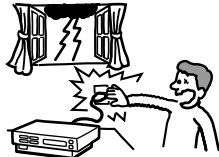
禁止

湿気やほこりの多い場所や、油煙や湯気の当たる場所には置かない

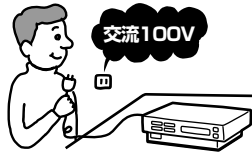
火災や感電の原因となります。特に風呂場などでは絶対に使わないでください。

禁止

下記の注意を守らないと、**火災・感電**による**死亡や大けが**の原因となります。

雷が鳴り出したら、本体や電源コードのプラグに触れない

感電の原因となります。

本機は国内専用です

交流100Vの電源でお使いください。海外などの異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

ぬれた手で電源コードのプラグにさわらない

感電の原因となります。

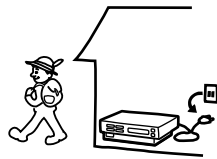
通風孔のお手入れは定期的に行う

本体の前面通風孔および背面通風孔（ファン）には、ほこりがたまりやすいので、定期的にお手入れをしてください。
通風孔にほこりがたまると、火災や故障の原因となります。

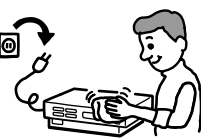
⚠注意　下記の注意を守らないと、**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

本機を使わないときや移動するときは、電源コードのプラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま移動すると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となります。
長期間の外出・旅行のときは、安全のため本体背面のMAIN POWER（主電源）スイッチで電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となります。

プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、電源コードのプラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となります。

プラグをコンセントから抜く

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと本体が過熱して、火災やけが、故障の原因となります。風通しを良くするために次の項目をお守りください。

- 壁から10cm以上離して設置する。特に本体の前面通風孔および背面通風孔（ファン）は、絶対にふさがない。
- 密閉された狭い場所に押し込まない。
- 毛足の長いじゅうたんや布団の上に設置しない。
- 布などで包まない。

禁止

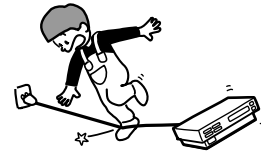
不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、本機が落ちてけがや故障の原因となります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。

禁止

本体とコード類は正しく配置する

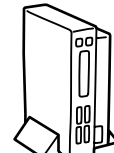
コードやケーブルを足に引っかけると、本体が落下・転倒して、けがや故障の原因となります。本体とコードの配置には充分に注意してください。

禁止

横置き・縦置き以外の置きかたをしない

横置き・縦置き以外の置きかたをすると、けがや故障の原因となります。
縦置きにするときは、必ず付属の"PlayStation 2"専用縦置きスタンドまたは別売りの"PlayStation 2"専用縦置きスタンド（ハードディスクドライブ（外付型）対応）（SCPH-10220）をお使いください。

横置き

縦置き

指示

本機を使用中は移動させない、置きかたを変えない

振動によりディスクに傷が付いたり、故障の原因となります。

禁止

⚠注意 下記の注意を守らないと、**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

本体を縦置きにした状態で8cmCD（シングルCD）を再生するときはアダプターを使う

本体を縦置きにした状態で8cmCD（シングルCD）を再生するときは、必ず別売りのアダプター（CSA-8*など）を使用してください。アダプターを取り付けずに使用すると、本体内部でディスクが破損し、けがや故障の原因となります。

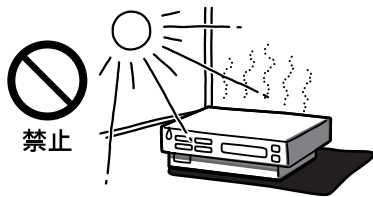
* CSA-8はソニー株式会社の商品です。

直射日光の当たる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となります。

本体の上に乗らない、重い物を載せない

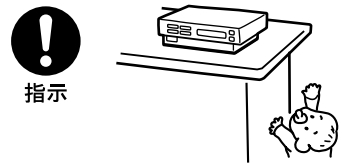
倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがや故障の原因となります。

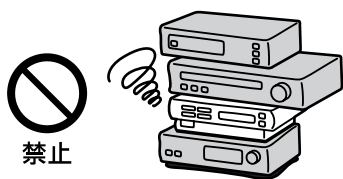
本体を他の機器と一緒に積み重ねない

倒れたり、落ちたりして、けがや故障の原因となります。

本体や周辺機器を床に放置しない

つまずいたり、踏みつけたりして、けがや故障の原因となります。

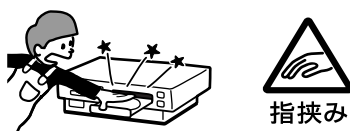
幼児の手の届かない場所に置く

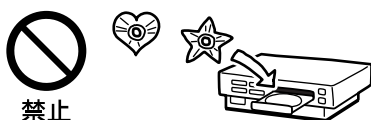
小さなお子さまが本体やケーブル、コードなどで遊ばないように手の届かない場所に置いてください。ケーブル、コードなどを首に巻きつけたり、引っ張って本体や周辺機器が落下したりして、けがや故障の原因となります。

液晶方式以外のプロジェクションテレビにつないで使用しない

液晶方式以外のプロジェクションテレビ（スクリーン投影方式テレビ）にはつながないでください。残像現象（画像の焼き付き）が起こることがあります。特に静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置すると、残像現象（画像の焼き付き）が起こりやすくなります。

ディスクトレイの前に物を置かない

ディスクトレイが開くときに物が倒れて、破損やけがの原因となります。

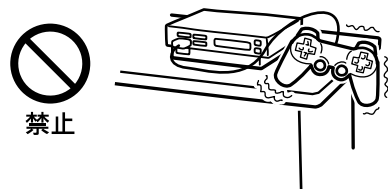
ディスクトレイに手を挟まれないようにする

ディスクトレイが閉まるときに手を挟まれると、けがや故障の原因となります。

円形以外のディスクを使用しない

円形以外の特殊な形状（星型、ハート型など）をしたディスクを使用すると、けがや故障の原因となります。

ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを再生しない

本体内部でディスクが破損し、けがや故障の原因となります。

アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）を放置しない

バイブレーション（振動）機能に対応したソフトウェアを使用している間は、アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）を本体の上や机の上などに放置しないでください。ソフトウェアの進行によりアナログコントローラ（DUALSHOCK 2）が振動して落下し、けがや故障の原因となります。使用しないときは本体背面のMAIN POWERスイッチで電源を切るか、アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）を本体からはずしてください。
なお、アナログコントローラ（DUALSHOCK）を使用した場合も同様です。

不要になった本機および梱包材は廃棄方法に注意する

本機は金属やプラスチックでできているため燃やすと危険です。また梱包材の一部は発泡スチロールでできているため燃やすと危険です。廃棄するときには充分に注意して、各自治体の指示に従ってください。

本機で使用できるディスクについて

本機でお使いいただけるのは、以下の6種類のディスクです。

ディスクの種類	"PlayStation 2"規格DVD-ROM	"PlayStation 2"規格CD-ROM	"PlayStation"規格CD-ROM
ディスクに付いているマーク（ロゴ）	"PS"と"PlayStation 2"ロゴタイプと NTSC J と「FOR JAPAN ONLY」表記	"PS"と"PlayStation 2"ロゴタイプと NTSC J と「FOR JAPAN ONLY」表記	"PlayStation"ロゴと NTSC J と「FOR JAPAN ONLY」表記
ディスクの色	銀	青	黒
特徴	音声と映像を記録した直径12cmのディスク		

ディスクの種類	音楽CD		DVDビデオ*3		DVD-RW（VRモード）	
ディスクに付いているマーク（ロゴ）	COMPACT disc DIGITAL AUDIO		DVD VIDEO		DVD RW	
記録内容	音声		音声＋映像		音声＋映像	
ディスクの直径	12cm	8cm*1	12cm	8cm*2	12cm	8cm*2

"DVD VIDEO"、"DVD-RW" のロゴは商標です。

*1 本体を縦置きにした状態で8cmCD（シングルCD）を再生するときは、必ず別売りのアダプター（CSA-8など）を使用してください。（CSA-8はソニー株式会社の商品です。）

*2 8cmのDVDビデオ、DVD-RWを再生するときは、必ず本体を横置きにした状態で使用してください。

*3 本機ではDVD-R、DVD-RW（ビデオモード）、DVD+R、DVD+RWは、DVDビデオに含めます。

DVDビデオの信号方式と地域制限について

- NTSC以外のカラーテレビ方式（PAL、SECAM）対応のDVDビデオはお使いいただけません。
- DVDビデオには、② のように地域番号が表示されているものがあります。表示中の数字は再生できるプレーヤーの地域番号を表しています。この表示に「2」が含まれていない、または ALL の表示のないDVDビデオは、本機で再生できません。

  このようなDVDビデオを再生しようとしたときは、「このディスクは地域制限により再生を禁止されています。」と画面に表示されます。また地域番号の表示がないDVDビデオでも地域制限されている場合があり、本機で再生できないことがあります。

海外で購入されたディスクについて

本機はNTSCカラーテレビ方式に対応しています。
海外で購入された、NTSC U/C および PAL の表記がある"PlayStation 2"規格CD-ROMおよびDVD-ROM、"PlayStation"規格CD-ROMは、本機ではお使いいただけません。

特殊な形状をしたディスクについて

本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状（星型、ハート型など）をしたディスクを使用すると、異常な動作や本機の故障の原因となります。

本製品の音楽ディスク再生機能は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠して設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生できない場合があります。

DVD-R / DVD-RW*1 / DVD+R / DVD+RW*2を再生するときのご注意

DVD-R / DVD-RW / DVD+R / DVD+RWドライブで記録されたディスクには、傷や汚れ、また記録状態が原因で再生できないものがあります。すべての記録終了時に終了情報を記録するファイナライズ作業をしていないディスクは再生できません。また、CPRM*3 対応のDVD-RWディスクに「一回だけ録画可能」の映像を記録した部分は、「再生が制限されているため再生できません。」と画面に表示され、再生ができません。詳しくは、レコーダーの取扱説明書をご覧ください。

*1 DVD-RW（ver1.1）は、DVDビデオと同じサイズで、記録や書き換えができるディスクです。DVD-RWにはVRモード、ビデオモードという2つの記録モードがあります。
- VR（ビデオレコーディング）モード：ビデオモードではできないさまざまな録画、編集が可能です。
- ビデオモード：DVDビデオフォーマットと互換性があります。本機ではDVDビデオに含めます。

*2 DVD+RWは、DVDビデオと同じサイズで、記録や書き換えができるディスクです。DVD+RWは、DVDビデオフォーマットと互換性のとれる記録方式を採用しています。

*3 CPRM（Content Protection for Recordable Media）とは、著作権を保護するために、映像素材を暗号化する技術です。

使用上のご注意

ディスクの取り扱いについて

- 直射日光が当たるところや暖房器具の近くなど、高温のところに保管しないでください。湿気の多いところも避けてください。
- 長時間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。ケースに入れずに重ねたり、ななめに立てかけたりすると、そりの原因となります。
- ディスクは表面に手を触れないように持ってください。
- 紙やテープをディスクに貼らないでください。
- ディスクにペンなどで書きこみをしないでください。
- 指紋やほこりによるディスクの汚れは映像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭いてください。

- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

端子類を直接触らないでください

本機の端子を直接手で触ったり、異物を入れないでください。また、EXPANSION BAY（拡張ベイ）を使用しないときは、EXPANSION BAY内の端子（拡張バスコネクター）を保護するために、必ずEXPANSION BAYカバーを付けてください。

箱は捨てないでください

- 外箱にはこの製品の保証書が印刷されていますので、絶対に捨てないでください。
- 修理の際には、保証書を外箱から切り取らないでください。
- 保証書が本機のものであることを確認するためには、"PlayStation 2"本体が入っている箱に貼り付けられているバーコードラベルが必要となります。
- 箱は修理の際、製品保護のためにも必要となります。

結露が起きたときは

本機やディスクを寒い屋外から暖かい室内に持ち込んだ直後などは、本体内部のレンズやディスクに露がつき（結露）、正しく動作しないことがあります。

結露が起きたときは、ディスクを取り出し、本体背面のMAIN POWERスイッチで電源を切り、電源コードのプラグを抜いた状態で数時間放置してください。正常に動作するようになります。

何時間たっても正常に動作しない場合は、インフォメーションセンターにご相談ください。

キャビネットを傷めないために

表面にはプラスチックが多く使われています。殺虫剤など、揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品などを長期間接触させないでください。変質または変色したり、塗料がはげる原因となります。

キャビネットのお手入れについて

お手入れをするときは、安全のため本体背面のMAIN POWERスイッチで電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

- 変質または変色したり、塗料がはげることがありますので、ベンジンやシンナーのご使用は避けてください。
  化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書きに従ってください。
- キャビネットの汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に柔らかい布をひたし、固くしぼってから汚れを拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
- 本体の前面通風孔および背面通風孔（ファン）にほこりがたまっているときは、掃除機などでほこりを取り除いてください。

落としたり重い物を載せないでください
使用中にゆらさないでください

本機や周辺機器に強い衝撃をあたえたり、圧力をかけたりしないでください。また、使用中にゆらしたり、強い衝撃をあたえたりしないでください。故障の原因となるばかりではなく、ディスクに傷がつくことがあります。

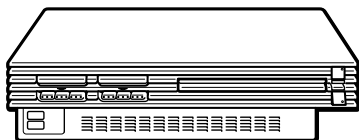
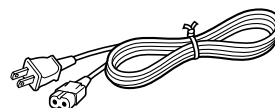
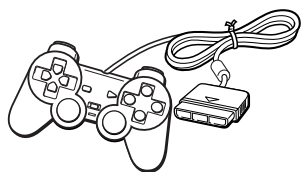
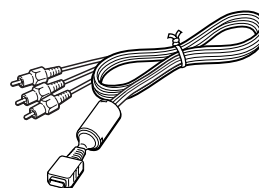
お客様へ

この製品は本取扱説明書に記載されている使用方法に従って使用してください。製品本体を分解したり、内部解析・改造などを行うこと、および製品本体内部のチップなどに含まれるプログラムなどの著作物を無断で利用もしくは解析することを禁止します。

上記につきご了解いただき、ご使用ください。

内容品を確認する

次の内容品がそろっているかを確認してください。

- "PlayStation 2"本体（1）

- 電源コード（1）

- アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）（2）

- AVケーブル（映像/音声一体型）（1）

- "PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）（1）
- "PlayStation 2"専用縦置きスタンド（大河原邦夫氏デザイン「U.C.スペシャルスタンド」）（1）
- 保護シール（1）
- 取扱説明書（本書）（1）
- サービスのしおり（1）
- ご愛用者カード（1）
- "PlayStation 2"規格ソフトウェア「機動戦士Zガンダム エゥーゴvs.ティターンズ」（1）

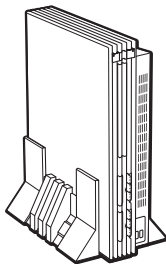
万一、内容品がそろっていないときは、インフォメーションセンターにご連絡ください。

本体の置きかた

本体は、縦置きまたは横置きにしてお使いください。

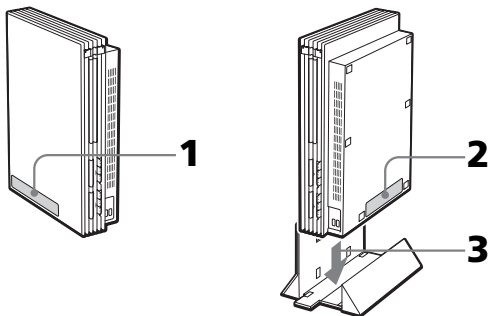
> **ご注意**
> - 本機の使用中に置きかたを変えないでください。振動によりディスクに傷が付いたり、故障の原因となります。
> - 縦置きまたは横置き以外の置きかたはしないでください。本機の故障の原因となります。

縦置きにするときは

縦置きにするときは、必ず下図のように付属の"PlayStation 2"専用縦置きスタンドをお使いください。

取り付けかた

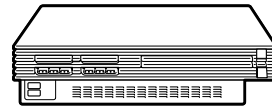
1 付属の保護シール（大）を本体の角に合わせて貼る。

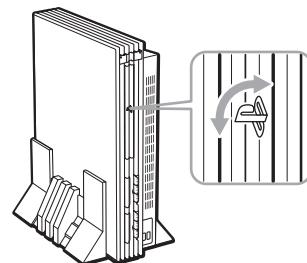
2 付属の保護シール（小）を本体の下の端に合わせ、ゴムキャップの間に貼る。

3 "PlayStation 2"専用縦置きスタンドを平らな場所に置き、本体をしっかり差し込む。

ご注意

- 取り付けるときは、本体に必ず保護シールを貼ってください。
- 取り付けるときは、保護シールがはがれたり、ずれたりしないよう、ご注意ください。
- 別売りの"PlayStation 2"専用横置きスタンド（SCPH-10110）と同時に使用しないでください。横置きスタンドが本体に取り付けられている場合は、取りはずしてから、縦置きスタンドを装着してください。

横置きにするときは

"PlayStation 2"専用縦置きスタンドをお使いにならないときは、下図のように横置きにしてください。このとき、別売りの"PlayStation 2"専用横置きスタンド（SCPH-10110）をお使いいただくこともできます。

ディスクトレイの "PS" ファミリーエンブレムについて

本体の置きかたにあわせて、ディスクトレイの "PS" ファミリーエンブレムを回転させることができます。

設置場所についてのご注意

ほこりやたばこの煙などの多い場所に置かない

ほこりやたばこのヤニが本体内部の部品（レンズなど）に付着すると、故障の原因となります。

異常に高温な場所に置かない

窓を閉め切った自動車内（特に夏期）などに放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となります。

次のような場所には置かないでください。

- 直射日光が当たるところや暖房器具の近くなど高温のところ。（5℃～35℃の範囲でご使用ください。）
- ダッシュボードや直射日光下で窓を閉め切った車内。
- 磁石やスピーカー、テレビのすぐそばなど磁気を帯びたところ。
- ほこりの多いところ。
- ぐらついた台の上や傾いたところ。
- 振動の多いところ。
- 風呂場など、湿気の多いところ。

テレビにつなぐ

本機をテレビにつなぎます。（テレビのスピーカーから音を出すときの接続です。）

> **ご注意**
> 電源コードのプラグは、すべての接続が終わってからコンセントに差し込んでください。

デジタル端子付きのオーディオ機器につないで、デジタル音声を出力するときは、テレビにつないだあとで「デジタル端子付きのオーディオ機器につなぐ」（17ページ）をご覧ください。

本機ではDVDビデオでプログレッシブ映像を楽しむことができます。
プログレッシブ（525p）方式に対応したテレビなどに接続して、プログレッシブ映像をお楽しみになる場合は「コンポーネントビデオ入力端子のあるテレビにつなぐ」、「D映像入力端子のあるテレビにつなぐ」の接続をしてください。プログレッシブ方式については「画像の設定をする（画面設定）」の「プログレッシブ」（43ページ）をご覧ください。

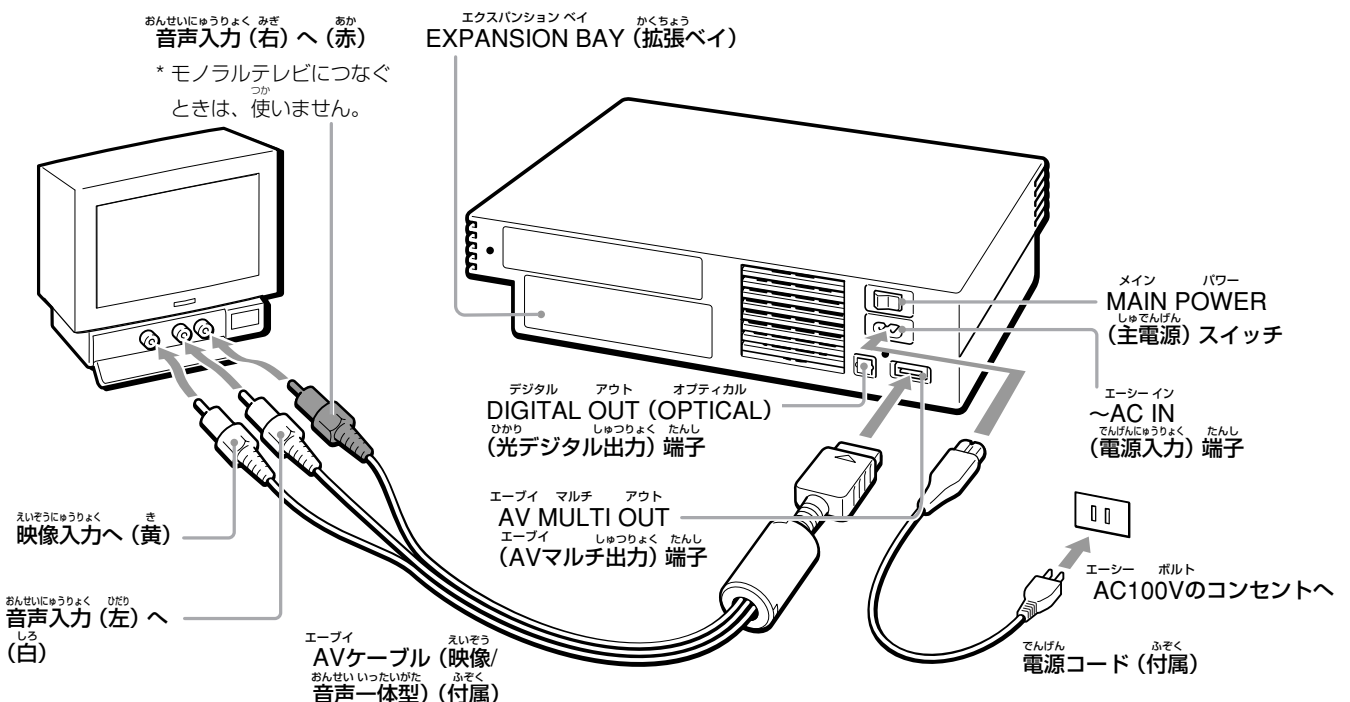
ビデオ入力端子のあるテレビにつなぐ

付属のAV ケーブル（映像/音声一体型）の黄プラグ、白プラグ、赤プラグを、テレビの映像入力（黄）、音声入力左（白）、音声入力右（赤）の端子へ、色を合わせてつなぎます。
お持ちのテレビによっては、別売りのS端子ケーブル（SCPH-10060）、"PlayStation 2"専用コンポーネントAVケーブル（SCPH-10100）または"PlayStation 2"専用D端子ケーブル（音声出力端子付き）（SCPH-10330）を使って、よりきれいな映像を楽しむことができます。

つないだあとは

テレビの入力切り換えを、「ビデオ2」などの本機をつないだ入力に切り換えてください。

ワイドテレビにつないだときは

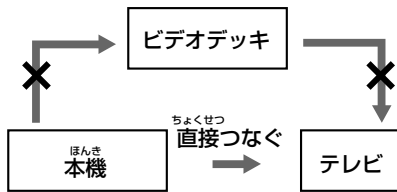
システム設定画面の「画面サイズ」を「16:9」に設定します。
詳しくは、「システム設定をする（システム設定画面）」の「画面サイズ」（20ページ）をご覧ください。

* モノラルテレビから左右両方の音を出したいときは、市販のモノラル↔ステレオ変換コードをお使いください。

ビデオデッキにつなぐ

テレビにつなぐときと同じように、ビデオの入力端子にプラグの色を合わせてつなぎます。

DVDビデオを見るときのご注意

- **本機をビデオデッキには接続せず、直接テレビにつないでください。**
  DVDビデオをビデオデッキを経由してテレビで見ようとした場合、一部のDVDビデオに使用されているコピープロテクション信号によって画像が乱れることがあります。

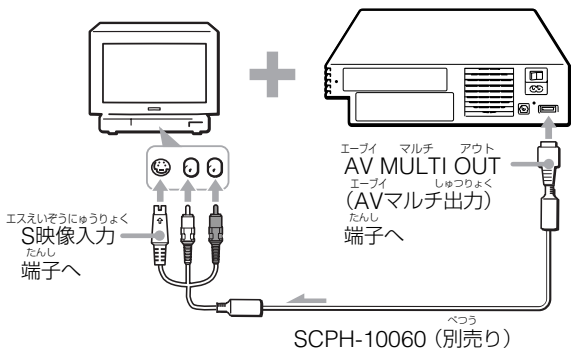
  （DVDビデオを見るとき）

- **本機をビデオ一体型テレビに接続した場合、画像が乱れることがあります。**
  DVDビデオをビデオ一体型テレビで見ようとした場合、ビデオ一体型テレビの機種によっては一部のDVDビデオに使用されているコピープロテクション信号によって画像が乱れることがあります。

つないだあとは

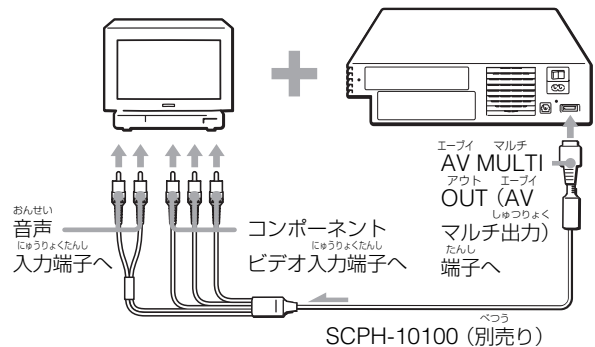
テレビの入力切り換えを、「ビデオ1」などのビデオをつないだ入力に切り換えてください。
また、ビデオの入力切り換え（またはチャンネル）を、「L1」などの本機をつないだ入力に切り換えてください。

S映像入力端子のあるテレビにつなぐ

お持ちのテレビにS映像入力端子があるときは、別売りのS端子ケーブル（SCPH-10060）を使って、AVケーブル（映像/音声一体型）で接続した場合よりも、きれいな映像を楽しむことができます。
つないだあとは、テレビの入力切り換えを「Sビデオ」にします。（自動的に切り換えるテレビもあります。）

SCPH-10060（別売り）

コンポーネントビデオ入力端子のあるテレビにつなぐ

お持ちのテレビに、本機の出力信号に対応したコンポーネントビデオ入力端子（Y CB/PB CR/PR）があるときは、別売りの"PlayStation 2"専用コンポーネントAVケーブル（SCPH-10100）を使って、AVケーブル（映像/音声一体型）やS端子ケーブルで接続した場合よりも、きれいな映像を楽しむことができます。
"PlayStation 2"専用コンポーネントAVケーブルをつなぐ前に、付属のAVケーブル（映像/音声一体型）をつないで、システム設定画面の「コンポーネント映像出力」を「Y Cb/Pb Cr/Pr」に設定してください（お買い上げ時は、「Y Cb/Pb Cr/Pr」に設定されています。20ページ）。設定したあと、"PlayStation 2"専用コンポーネントAVケーブルをつないでください。

SCPH-10100（別売り）

ご注意

ハイビジョン入力専用のコンポーネント入力端子（Y/PB/PR）を持つテレビにつないで、本機をお使いになることはできません。
詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

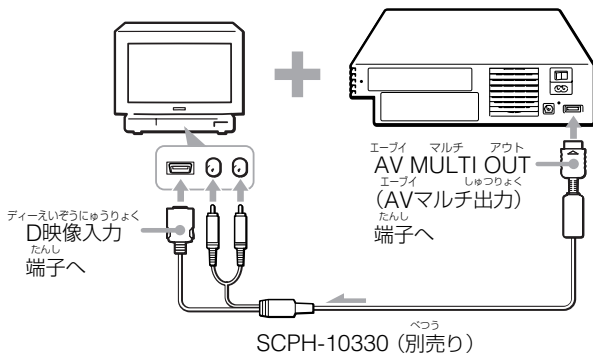
D映像入力端子のあるテレビにつなぐ

お持ちのテレビに、本機や使用するソフトウェアの出力信号に対応したD映像入力端子（D1～D5）があるときは、別売りの"PlayStation 2"専用D端子ケーブル（音声出力端子付き）（SCPH-10330）を使って、AVケーブル（映像/音声一体型）やS端子ケーブルで接続した場合よりも、きれいな映像を楽しむことができます。
"PlayStation 2"専用D端子ケーブル（音声出力端子付き）をつなぐ前に、本体とテレビを付属のAVケーブル（映像/音声一体型）でつないで、システム設定画面の「コンポーネント映像出力」を「Y Cb/Pb Cr/Pr」に設定してください（お買い上げ時は、「Y Cb/Pb Cr/Pr 」に設定されています。20ページ）。設定したあと、"PlayStation 2"専用D端子ケーブル（音声出力端子付き）をつないでください。
つないだあとは、テレビの設定を行ってください。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

SCPH-10330（別売り）

ビデオ入力端子のないテレビにつなぐ

別売りのRFUアダプターキット（SCPH-10070）を使って、本機をテレビのアンテナ入力端子につなぐことができます。このつなぎかたでは、音声がモノラルになります。
詳しくは、SCPH-10070の取扱説明書をご覧ください。

SCPH-10070（別売り）

AVマルチ入力端子のあるテレビにつなぐ

お持ちのテレビにAVマルチ入力端子があるときは、別売りのマルチAVケーブル（VMC-AVM250*）を使って、さらにきれいな映像を楽しむことができます。AVマルチ入力端子のあるテレビは、RGB入力のみ可能なもの、RGB入力とY CB/PB CR/PR入力が可能なものがあります。（詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。）
マルチAVケーブルをつなぐ前に、付属のAVケーブル（映像/音声一体型）をつないで、システム設定画面の「コンポーネント映像出力」を「RGB」または「Y Cb/Pb Cr/Pr」に設定してください（20ページ）。設定したあと、マルチAVケーブルをつないでください。

VMC-AVM250（別売り）

* VMC-AVM250はソニー株式会社の商品です。

ご注意

RGB入力のみ対応したAVマルチ入力端子のあるテレビで、DVDビデオをご覧になるときは、付属のAVケーブル（映像/音声一体型）または別売りのS端子ケーブル（SCPH-10060）など、別売りのマルチAVケーブル（VMC-AVM250*）以外の"PlayStation 2"に対応したケーブルをお使いください。マルチAVケーブルで接続すると、DVDビデオが正常に映りません。
RGB入力とY CB/PB CR/PR入力に対応したAVマルチ入力端子のあるテレビをお持ちの場合は、マルチAVケーブルを使ってDVDビデオをご覧になれます。つないだあとは、テレビの設定を適切に行ってください。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

残像現象（画像の焼き付き）のご注意

メニューや本機の設定画面などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。残像現象（画像の焼き付き）が起こることがあります。特に液晶方式以外のプロジェクションテレビ（スクリーン投影方式テレビ）では残像現象が起こりやすいので使用しないでください。

つなぐテレビによっては画面が上下に揺れることがあります

本機をテレビにつないでお使いになる際に、ごく一部のテレビでは画面が上下に揺れたりすることがあります。このような場合、本機を他のテレビにつないでください。それでもテレビの画面が乱れる場合には、インフォメーションセンターまでご相談ください。

ご注意

本機をプログレッシブ（525p）方式に対応するテレビなどにつなぎプログレッシブ出力したときに、画像の乱れなどの問題が生じた場合は、通常のテレビ（インターレース）方式でご覧になることをお勧めします。プログレッシブ方式については「画像の設定をする（画面設定）」の「プログレッシブ」（43ページ）をご覧ください。

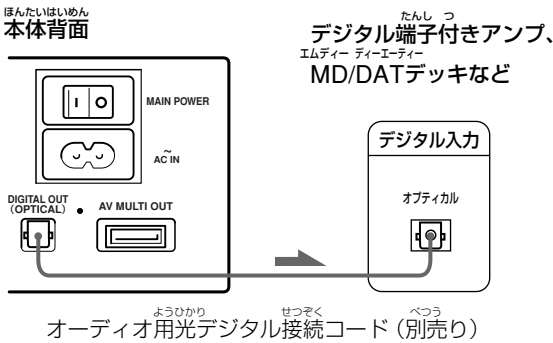
デジタル端子付きのオーディオ機器につなぐ

本機をデジタル端子付きのオーディオ機器につないで、デジタル音声を出力するときの接続です。

デジタル端子付きのアンプやMDデッキ、DATデッキにつなぐ

オーディオ用光デジタル接続コード（別売り）を使います。
この接続をしたときは、システム設定画面の「光デジタル出力」を「入」に設定しておきます。（お買い上げ時は、「入」に設定されています。）
詳しくは、「システム設定をする（システム設定画面）」の「光デジタル出力」（20ページ）をご覧ください。

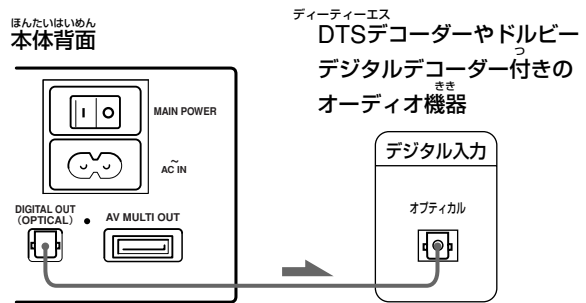
オーディオ用光デジタル接続コード（別売り）

ご注意

- つなぐ機器の取扱説明書もご覧ください。
- ドルビーデジタル方式、DTS方式で記録されたディスクの音声を、そのままMDデッキやDATデッキでデジタル録音することはできません。
- "PlayStation 2"規格ソフトウェアの一部には、DIGITAL OUT(OPTICAL)（光デジタル出力）端子からの音声出力に対応していないものがあり、その場合オーディオ用光デジタル接続コードで接続しても音声が出力されません。そのようなソフトウェアの音声を楽しむには、本機と音響機器を付属のAVケーブル(映像/音声一体型)などのアナログ音声出力端子で接続する必要があります。

DTS*1デコーダーやドルビーデジタル*2デコーダー内蔵のオーディオ機器につなぐ

DTSデコーダーやドルビーデジタルデコーダー内蔵の機器につなぐと、ドルビーデジタル（AC-3）方式またはDTS方式で記録されている音声を、映画館やコンサートホールにいるような迫力で再生できます。
オーディオ用光デジタル接続コード（別売り）を使います。
この接続をしたときは、システム設定画面の「光デジタル出力」を「入」に設定しておきます。（お買い上げ時は、「入」に設定されています。）
詳しくは、「システム設定をする（システム設定画面）」の「光デジタル出力」（20ページ）をご覧ください。

オーディオ用光デジタル接続コード（別売り）

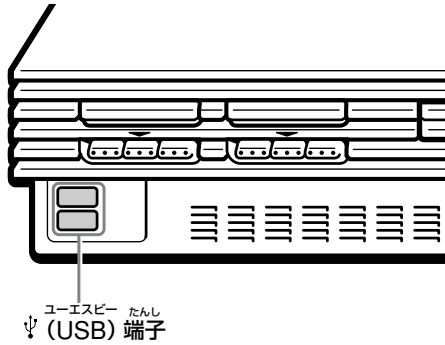
ご注意

つなぐ機器の取扱説明書もご覧ください。

*1 5.1チャンネル・サラウンド対応の音声デジタル圧縮技術。
Digital Theater Systems, Inc.からの実施権に基づき製造されています。DTSおよびDTS Digital OutはDigital Theater Systems, Inc.の商標です。

*2 5.1チャンネル・サラウンド対応の音声デジタル圧縮技術。
ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
非公開機密著作物。著作権1992-1997年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

その他のデジタル機器につなぐ

USB対応機器につなぐ

本体前面の（USB）端子を使って、USB対応機器につなぐことができます。つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

起動する

電源を入れて初めて本機を起動すると、初期設定画面が表示されます。
画面の指示に従って「表示言語」、「タイムゾーン」、「サマータイム設定」を設定します。

システム設定画面を使ってあとから設定を変更することができます。詳しくは、「システム設定をする（システム設定画面）」（19ページ）をご覧ください。

メインメニューの使いかた

本機にディスクが入っていない状態で電源を入れると、メインメニュー画面が表示されます。
メインメニュー画面から、ブラウザ画面やシステム設定画面、本体設定画面に進むことができます。

ブラウザ画面を使う（ブラウザ画面）

ブラウザ画面を使って以下のことができます。

- "PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）、メモリーカードまたは"PocketStation"のデータの確認・コピー・削除。
- "PlayStation 2"規格ソフトウェアまたは"PlayStation"規格ソフトウェアの起動。
- 音楽CDの再生
- DVDビデオの再生

1 メインメニュー画面で「ブラウザ」を選び、○ボタン（決定）を押す。
MEMORY CARD差込口に"PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）、メモリーカードまたは"PocketStation"が差し込まれていたり、本体にディスクが入っている場合は、それらのアイコンがブラウザ画面に表示されます。
メディアがない場合は、「データがありません。」と表示されます。

"PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）、メモリーカードまたは"PocketStation"のデータを確認・コピー・削除する

データをカードからカードへコピーしたり、いらなくなったデータを削除したりできます。ただし、"PlayStation 2"規格ソフトウェアのデータを、メモリーカードまたは"PocketStation"にコピーすることはできません。
あらかじめ"PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）、メモリーカードまたは"PocketStation"をMEMORY CARD差込口に差し込んでおいてください。

1 確認・コピー・削除したいデータがセーブされている"PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）、メモリーカードまたは"PocketStation"のアイコンを選び、○ボタン（決定）を押す。

2 画面表示に従ってデータのコピー・削除などを行う。

ご注意

データのコピーまたは削除中は、"PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）、メモリーカードまたは"PocketStation"を抜かないでください。

システム設定をする（システム設定画面）

システム設定画面では、本体の設定をすることができます。

1 メインメニュー画面で「システム設定」を選び、○ボタン（決定）を押す。
システム設定画面が表示されます。

2 方向キー上、下で設定項目を選び、○ボタン（決定）を押す。
それぞれの設定をします。

設定項目

お買い上げ時は、下線の付いている項目に設定されています。

■ 時刻合わせ

1 方向キー上、下で「年」を設定し、方向キー右を押す。
同じようにして「月」、「日」、「時」、「分」、「秒」を設定します。

2 時報に合わせて、○ボタン（決定）を押す。

時刻合わせの詳細設定をする

- 時間表示
  - 12時間
  - 24時間
- 日付表示
  - 月／日／年
  - 日／月／年
  - 年／月／日
- タイムゾーン
  該当するタイムゾーンを選びます。
- サマータイム設定
  「標準時間」に設定してください。
  - 標準時間
  - 夏時間

1 「時刻合わせ」を選び、△ボタン（詳細設定）を押す。

2 方向キー上、下で設定したい項目を選び、○ボタン（決定）を押す。

3 方向キー左、右で設定を選び、○ボタン（決定）を押す。

■ 画面サイズ

つなぐテレビの画面サイズを設定します。

- 4:3 ：通常のテレビにつなぐときに選ぶ。
- フル ：通常のテレビにつなぐときに選ぶ。上下の帯が消える。
- 16:9：ワイドテレビにつなぐときに選ぶ。

■ 光デジタル出力

DIGITAL OUT（OPTICAL）（光デジタル出力）端子の出力を設定します。

- 入：光デジタル接続コードでつないだときに選ぶ。
- 切：DIGITAL OUT端子から音声信号を出力しないときに選ぶ。

■ コンポーネント映像出力

別売りのケーブルを使って、AVマルチ入力端子や本機の出力信号に対応したコンポーネントビデオ入力端子（Y CB/PB CR/PR）やD映像入力端子（D1～D5）のあるテレビにつないだときに設定します。

- Y Cb/Pb Cr/Pr：別売りの"PlayStation 2"専用コンポーネントAVケーブルを使って、テレビのコンポーネントビデオ入力端子につなぐ場合、または別売りの"PlayStation 2"専用D端子ケーブル（音声出力端子付き）を使って、テレビのD映像入力端子につなぐ場合、あるいは、別売りのマルチAVケーブル（VMC-AVM250*）を使って、Y CB/PB CR/PR入力に対応したAVマルチ入力端子のあるテレビにつなぐときに選ぶ。

  * VMC-AVM250はソニー株式会社の商品です。

- RGB：別売りのマルチAVケーブルを使って、テレビのAVマルチ入力端子につなぐときに選ぶ。

この設定は、"PlayStation 2"規格および"PlayStation"規格ソフトウェアの映像出力のみ有効です。DVDビデオを見るときは、自動的に「Y Cb/Pb Cr/Pr」出力に切り換わります。

ご注意

付属のAVケーブル（映像/音声一体型）または別売りのS端子ケーブル（SCPH-10060）をつないで使用するときは、この設定をする必要はありません。

"PlayStation 2"専用コンポーネントAVケーブル、"PlayStation 2"専用D端子ケーブル（音声出力端子付き）またはマルチAVケーブルを接続したあとは、テレビの設定を適切に行ってください。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

■ リモートコントローラ

別売りの"PlayStation 2"専用DVDリモートコントローラを使うときに設定します。

- ゲームプレイ機能 入：リモコンで"PlayStation 2"規格ソフトウェアまたは"PlayStation"規格ソフトウェアを操作するときに選ぶ。
- ゲームプレイ機能 切：リモコンで"PlayStation 2"規格ソフトウェアまたは"PlayStation"規格ソフトウェアを操作しないときに選ぶ。

ご注意

- 「リモートコントローラ」を「ゲームプレイ機能 入」に設定した場合、一部の"PlayStation 2"規格ソフトウェアまたは"PlayStation"規格ソフトウェアでは、コントローラを本機のコントローラ端子1から抜いた際に、ソフトウェアで意図されたとおりに動作しないことがあります。その場合は、「ゲームプレイ機能 切」に設定してください。
- リモコンからのボタン操作が正常に動作しないことがあります。また、リモコンで複数のボタンを同時に押しても機能しません。

■ 表示言語

画面上に表示する言語を設定します。

- 日本語
- 英語

本体前面の⏻/RESETボタンを押したり、本体背面のMAIN POWERスイッチで電源を切っても、設定した内容は保存されます。

本体設定をする（本体設定画面）

本体設定画面では、本体の各種機能のバージョン確認や詳細設定をすることができます。

1 メインメニュー画面で△ボタン（本体設定）を押す。

本体設定画面が表示されます。

設定項目

お買い上げ時は、下線の付いている項目に設定されています。

■ 自動診断

本機には、ディスクを最適な状態で使えるよう自動的に設定する機能があります。

- しない
- する

1 方向キー上、下で「本体」を選び、△ボタン（詳細設定）を押す。

2 ○ボタン（決定）を押す。

3 方向キー上、下で「する」を選び、○ボタン（決定）を押す。

4 ディスクトレイにディスクを入れる。

自動診断が始まります。

ご注意

本体設定の自動診断は、次の場合にお買い上げ時の設定に戻ります。

– "PlayStation 2"規格および"PlayStation"規格ソフトウェアまたはDVDビデオを再生したとき
– 本体前面の⏻/RESETボタンを押して、リセットまたはスタンバイ状態にしたとき
– 本体背面のMAIN POWERスイッチで電源を切ったとき

■ "PlayStation"ドライバー

"PlayStation"規格ソフトウェアに対する設定をします。

- ディスク読み込み速度
  - 標準：通常は「標準」を選ぶ。
  - 高速：高速で読み込むときに選ぶ。ソフトウェアによっては効果が分かりにくかったり、高速での読み込みに対応していないものもある。その場合、「標準」を選ぶ。
- テクスチャマッピング
  - 標準：通常は「標準」を選ぶ。
  - 補間処理："PlayStation"規格ソフトウェアを起動するとき、画面の粗さを少なくするときに選ぶ。ソフトウェアによっては効果が分かりにくかったり、画像が乱れることがある。その場合、「標準」を選ぶ。

1 方向キー上、下で「PlayStation®ドライバー」を選び、△ボタン（詳細設定）を押す。

2 設定する項目を選び、○ボタン（決定）を押す。

ご注意

設定した内容は、次の場合にお買い上げ時の設定に戻ります。

- 本体前面の⏻/RESETボタンを押して、スタンバイ状態にしたとき
- 本体背面のMAIN POWERスイッチで電源を切ったとき

■ プログレッシブ設定解除

DVDプレーヤーの「プログレッシブ」を解除します。

- しない
- する

1 方向キー上、下で「DVDプレーヤー」を選び、△ボタン（詳細設定）を押す。

2 ○ボタン（決定）を押す。

3 方向キー上、下で「する」を選び、○ボタン（決定）を押す。

「する」を選んでも、DVDビデオを再生するまで、DVDプレーヤーの「プログレッシブ」は解除されません。

4 ×ボタン（戻る）を押してメインメニュー画面まで戻り方向キー上、下で「ブラウザ」を選び、○ボタン（決定）を押す。

5 方向キー上、下、左、右でDVDビデオのアイコンを選び、○ボタン（決定）を押す。

DVDプレーヤーの「プログレッシブ」が解除され、再生が始まります。

ご注意

- DVDプレーヤーで「プログレッシブ」を「入」にしている場合のみ設定ができます。「切」にしている場合は「DVDプレーヤー」の詳細設定は表示されません。
- 「プログレッシブ」を「入」に設定するには、「画像の設定をする（画面設定）」の「プログレッシブ」（43ページ）をご覧ください。
- 手順5の前に次の操作をした場合、設定が終了していないため、DVDプレーヤーの「プログレッシブ」は解除されません。
  - 本体前面の⏻/RESETボタンを押して、リセットまたはスタンバイ状態にしたとき
  - 本体背面のMAIN POWERスイッチで電源を切ったとき

ゲームで遊ぶ

ゲームを始める

1 本体背面のMAIN POWERスイッチで電源を入れる。
本体前面の⏻（オン/スタンバイ）ランプが赤色に点灯します（スタンバイ状態）。

2 本体前面の⏻（オン/スタンバイ）/RESETボタンを押す。
本体前面の⏻ランプが緑色に点灯し、オープニング画面が現れます。

3 本体前面の⏏（オープン）ボタンを押す。
ディスクトレイが手前に開きます。

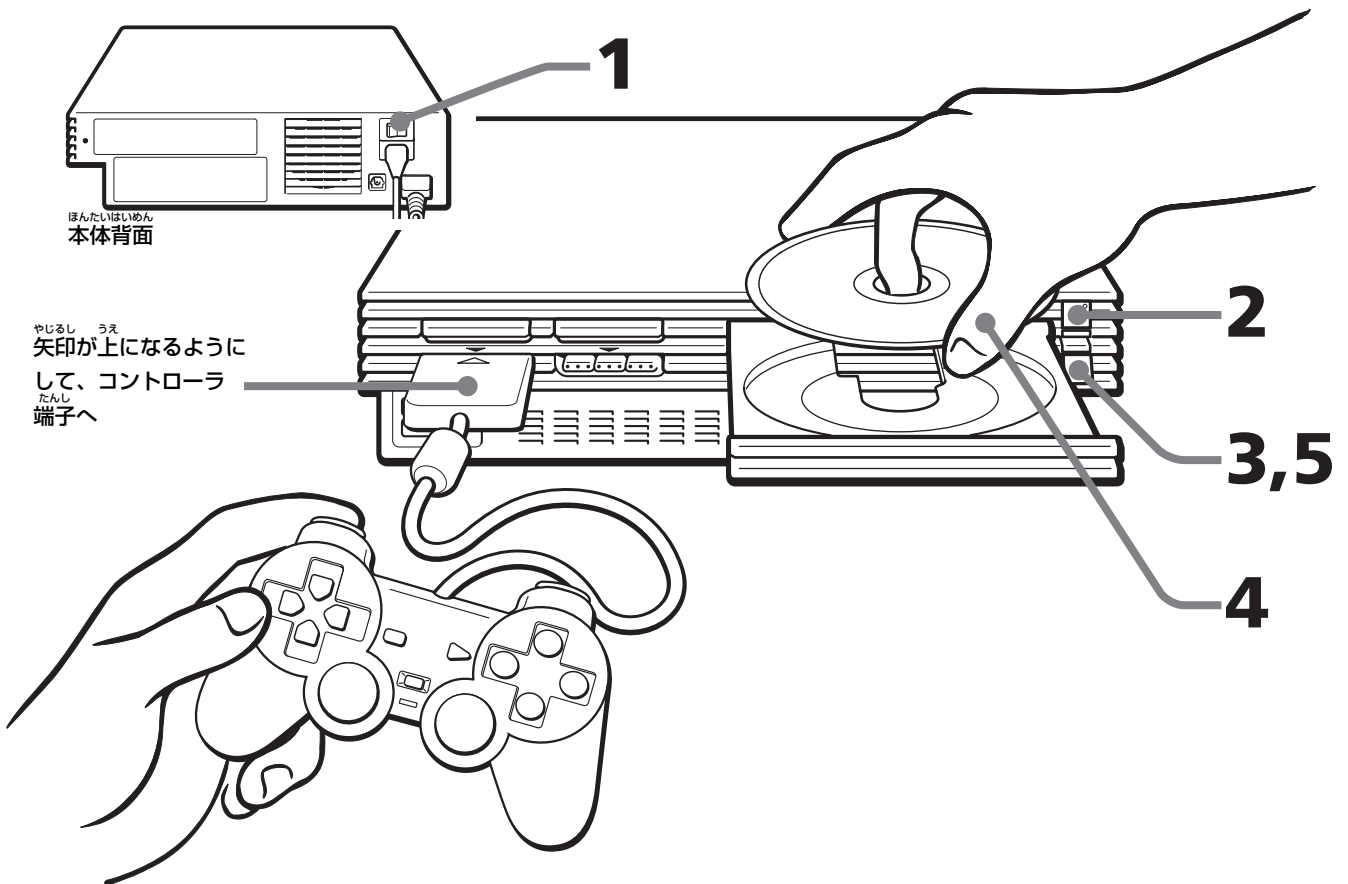
4 ディスクレーベルのある面を上にして、ディスクをディスクトレイに載せる。

5 本体前面の⏏ボタンを押す。
ディスクトレイが閉まります。次のページの②または③の画面が現れて、ゲームが始まります。

ご注意

アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）、アナログコントローラ（DUALSHOCK）はソフトウェアに合ったモードにしてお使いください。詳しくは、「モードを切り換える」（24ページ）をご覧ください。

ゲームを再スタートさせるには

本体前面の⏻/RESETボタンを押してリセットします。ゲーム中に押すと、ゲームが終了してしまいますのでご注意ください。

ゲームを終える

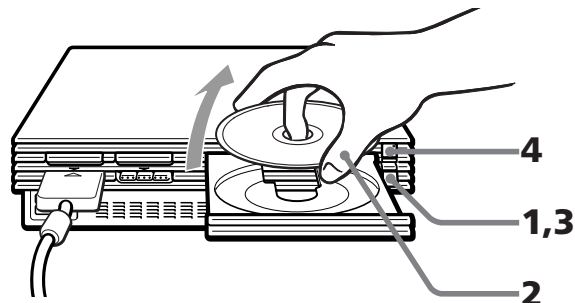
1 本体前面の⏏ボタンを押す。
ディスクトレイが手前に開きます。

2 ディスクを取り出す。

3 本体前面の⏏ボタンを押す。
ディスクトレイが閉まります。

4 本体前面の⏻/RESETボタンを3秒以上押す。
本体前面の⏻ランプが赤色に点灯し、スタンバイ状態になります。

長時間ゲームをしないときは

本体背面のMAIN POWERスイッチで電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

電源を入れたときの画面

ディスクが入っていない状態で本機の電源を入れると

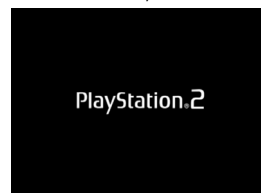
①の画面が現れます。

- ①の画面が現れてから"PlayStation 2"規格または"PlayStation"規格のディスクを入れると、②または③の画面に移りゲームを始めることができます。
- ①の画面からシステム設定画面やブラウザ画面に移ることができます。詳しくは、「メインメニューの使いかた」（19ページ）をご覧ください。

ディスクが入っている状態で本機の電源を入れると

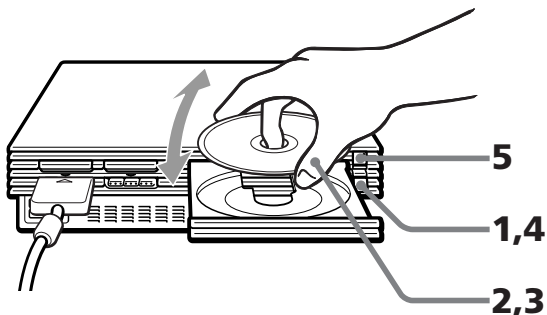
ディスクの種類によって、②〜④の画面が現れます。
④の画面が現れたときは、入れたディスクが本機でお使いいただけないディスクである可能性があります。ディスクの種類をご確認ください（10ページ）。

① ディスクが入っていない（メインメニュー）

② "PlayStation 2"規格 DVD-ROM/CD-ROM

③ "PlayStation"規格 CD-ROM

④ 本機で使えないディスク

別のソフトウェアで遊ぶ

ディスクを交換するときに、電源を切る必要はありません。

1 本体前面の⏏ボタンを押す。
ディスクトレイが手前に開きます。

2 ディスクを取り出す。

3 別のディスクを載せる。

4 本体前面の⏏ボタンを押す。
ディスクトレイが閉まります。

5 本体前面の⏻/RESETボタンを押してリセットする。
オープニング画面が現れたあと、上の②または③の画面が現れて、ゲームが始まります。

複数枚組のソフトウェアで遊んでいるときにディスクを交換する場合は、手順1〜4を行ってください。
詳しくは、ソフトウェアの解説書などをご覧ください。

アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）を使う

アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）を使うと、アナログ操作やバイブレーション（振動）機能を楽しむことができます。

> **ご注意**
>
> **アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）のご使用前には、「安全のために」（2ページ）を必ずお読みください。**

アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）とアナログコントローラ（DUALSHOCK）の違いについて

① アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）（付属および別売り）

- "PlayStation 2"規格ソフトウェアおよび"PlayStation"規格ソフトウェアで使用できます。
  詳しくは、ソフトウェアの解説書などをご覧ください。
- デジタルモードとアナログモードを楽しむことができます。
  アナログモードにすると、次のボタンでアナログ操作ができます。
  "PlayStation 2"規格ソフトウェア
  方向キー上、下、左、右、△ボタン、○ボタン、×ボタン、□ボタン、左スティック、右スティック、L1ボタン、R1ボタン、L2ボタン、R2ボタン
  "PlayStation"規格ソフトウェア
  左スティック、右スティック
- バイブレーション（振動）機能を楽しむことができます。

② アナログコントローラ（DUALSHOCK）（別売り）

- "PlayStation"規格ソフトウェアで使用できます。
  "PlayStation 2"規格ソフトウェアで使用できるものもあります。詳しくは、ソフトウェアの解説書などをご覧ください。
- デジタルモードとアナログモードを楽しむことができます。
  アナログモードにすると、次のボタンでアナログ操作ができます。
  "PlayStation 2"規格ソフトウェア
  左スティック、右スティック
  "PlayStation"規格ソフトウェア
  左スティック、右スティック
- バイブレーション（振動）機能を楽しむことができます。

ご注意

アナログ操作ができるボタンはソフトウェアによって異なります。詳しくは、ソフトウェアの解説書などをご覧ください。

モードを切り換える

ANALOGモードスイッチを押すたびにモードが切り換わります。アナログモードのときはLED表示が赤色に点灯します。
それぞれのソフトウェアの、対応しているモードに切り換えてお使いください。

デジタルモード（LED表示：消灯）
↑↓
アナログモード（LED表示：赤色）

ご注意

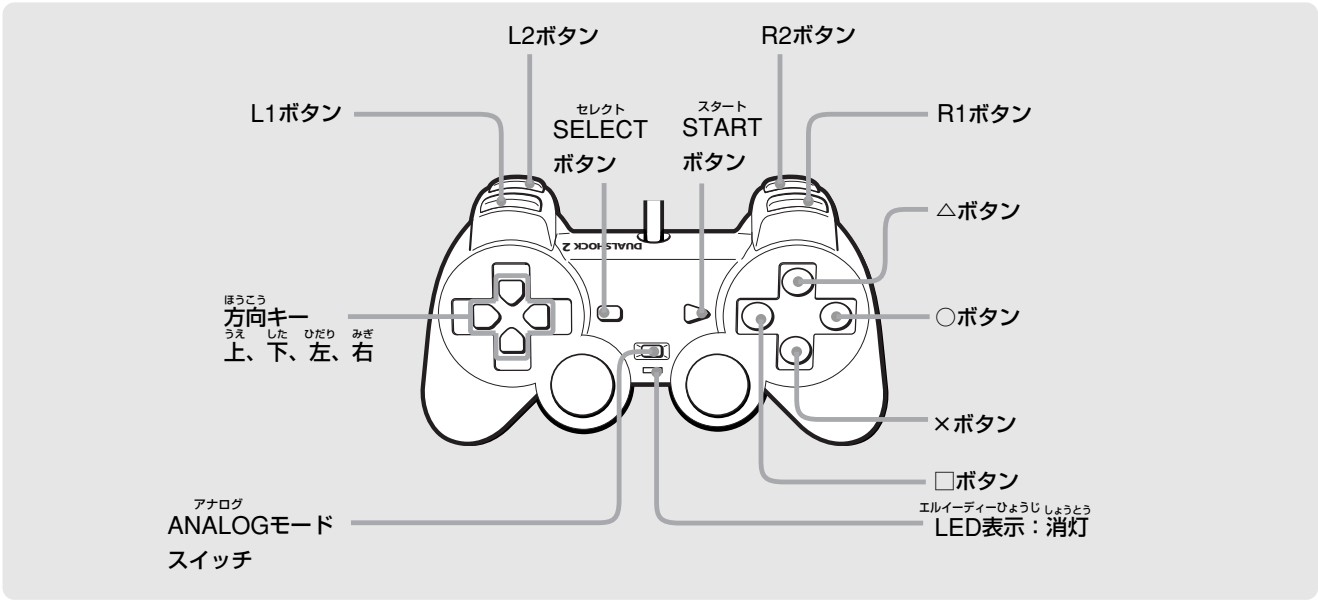
ソフトウェアによってはANALOGモードスイッチを押してもモードが切り換わらないものがあります。また自動的にモードが切り換わるものもあります。
詳しくは、ソフトウェアの解説書などをご覧ください。

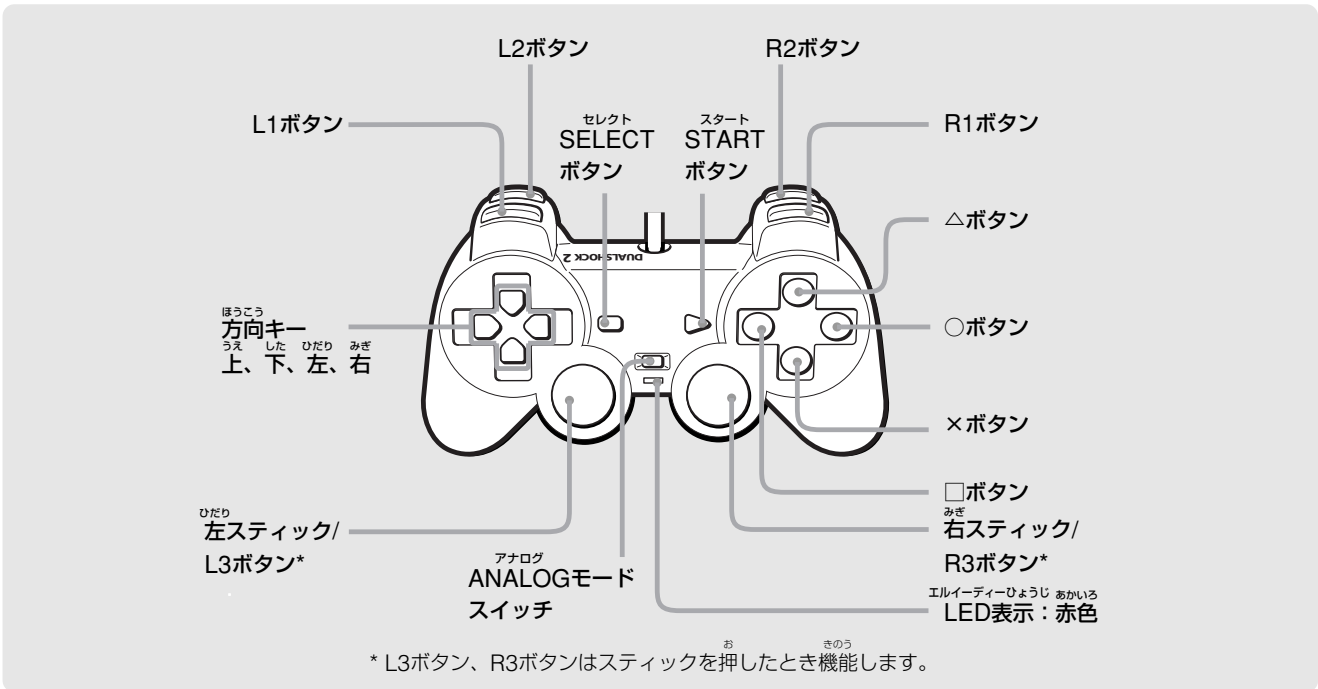
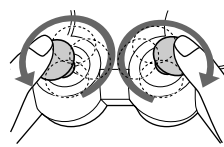
バイブレーション（振動）機能について

アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）は振動機能を持つ体感型のコントローラです。振動機能のON/OFF（入/切）はソフトウェアの画面上で操作できます。
詳しくは、ソフトウェアの解説書などをご覧ください。
なお、解説書に振動機能についての説明がなくても、自動的に振動機能が働くソフトウェアもあります。

ご注意

- 振動機能をお使いになる前に、「アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）の使用について」（4ページ）をよくお読みください。
- 使用しないときは本体の電源を切るか、アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）を本体からはずしてください。

デジタルモード（LED表示：消灯）のとき

アナログモード（LED表示：赤色）のとき

* L3ボタン、R3ボタンはスティックを押したとき機能します。

- ゲームを始めるときは、電源を入れたあとに、右スティックと左スティックを大きく円を描くように動かしてください。（右図参照）
  スティック部分はねじらないでください。

"PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）、メモリーカードを使う

"PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）やメモリーカードを使うと、ゲームデータをセーブ（記録）またはロード（読み出し）できます。

"PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）とメモリーカードの違いについて

"PlayStation 2"規格ソフトウェアで遊ぶときは、"PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）（①）を使います。
"PlayStation"規格ソフトウェアで遊ぶときは、メモリーカード（②）を使います。

① "PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）（付属および別売り）

"PlayStation 2"規格ソフトウェアのゲームデータをセーブまたはロードできます。1枚の"PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）につき、約8メガバイト*のゲームデータをセーブできます。ただし、ファイル管理情報として使用される容量の分だけ、空き容量が少なくなる場合があります。
（"PlayStation"ではカードへの記録容量を「ブロック」で表していましたが、"PlayStation 2"では「キロバイト」で表します。）
"PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）には、データの暗号化と機器の相互認証の2つの技術を使って著作権を保護する技術であるMagicGate（マジックゲート）が搭載されています。

MAGICGATE は、ソニーが考案した著作権保護の仕組みを表す名称であり、各種メディア間の互換性を保証するものではありません。

* 8メガバイト＝8,000キロバイト

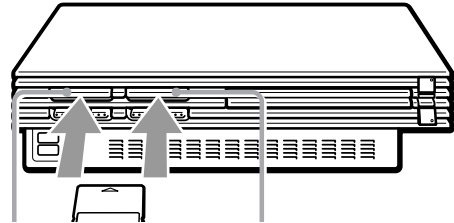
② メモリーカード（別売り）

"PlayStation"規格ソフトウェアのゲームデータをセーブまたはロードできます。1枚のメモリーカードにつき、120キロバイト（15ブロック）のゲームデータをセーブできます。

ご注意

"PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）またはメモリーカードの空き容量を超える容量を必要とするゲームデータをセーブしようとしても、セーブできません。ゲーム前に、データのセーブに必要な容量とカード内の空き容量を確認してください。
データのセーブに必要な容量は、ソフトウェアの解説書などに記載されています。

カードを差し込む

"PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）またはメモリーカードを、矢印が必ず上になるようにしてMEMORY CARD差込口に差し込む。

MEMORY CARD差込口1　MEMORY CARD差込口2

マルチタップを使うときのご注意

- "PlayStation 2"規格ソフトウェアで遊ぶときは、"PlayStation 2"専用マルチタップ(SCPH-10090)を使用してください。
  "PlayStation"規格ソフトウェアで遊ぶときは、マルチタップ(SCPH-1070 H)を使用してください。
- マルチタップ(SCPH-1070 H)を使用するときは必ずマルチタップ側のMEMORY CARD差込口Aを使用してください。
  マルチタップを差し込んでいる本機のコントローラ端子と同じ番号のMEMORY CARD差込口にメモリーカードを差し込んで使用すると、データが破損することがあります。

ゲームデータを確認・コピー・削除する

ゲームデータをカードからカードへコピーしたり、いらなくなったゲームデータを削除したりできます。ただし、"PlayStation 2"規格のソフトウェアのゲームデータを、メモリーカード（SCPH-1020 HI）または "PocketStation"にコピーすることはできません。
ゲームデータの確認・コピー・削除は、ブラウザ画面で行います。ブラウザ画面について詳しくは、「ブラウザ画面を使う（ブラウザ画面）」（19ページ）をご覧ください。

ご注意

ブラウザ画面では、ゲームデータのセーブやロードはできません。ゲームデータのセーブやロードのしかたについて詳しくは、ソフトウェアの解説書などをご覧ください。

"PocketStation"を使う

別売りの"PocketStation"（SCPH-4000）は、"PlayStation"規格ソフトウェアのゲームデータを120キロバイト（15ブロック）セーブまたはロードできます。
また、"PlayStation 2"規格および"PlayStation"規格ソフトウェアが"PocketStation"に対応している場合、"PocketStation"のゲームをダウンロードできます。
詳しくは、ソフトウェアの解説書などをご覧ください。あわせて、"PocketStation"の取扱説明書もご覧ください。

音楽CDを聞く

音楽CDを再生する

1 **メインメニュー画面で「ブラウザ」を選び、○ボタン（決定）を押す。**
ブラウザ画面が表示されます。

2 **本体前面の⏏ボタンを押す。**
ディスクトレイが手前に開きます。

3 **ディスクレーベルのある面を上にして、音楽CDをディスクトレイに載せる。**

4 **本体前面の⏏ボタンを押す。**
ディスクトレイが閉まり、ブラウザ画面に音楽CDのアイコンが表示されます。

5 **方向キー上、下、左、右で音楽CDのアイコンを選び、○ボタン（決定）を押す。**
音楽CDに入っている曲数分のトラックが表示されます。再生したいトラック番号を選び、○ボタンを押すと、再生が始まります。

音楽CDを終える

1 **本体前面の⏏ボタンを押す。**

2 **ディスクを取り出す。**

3 **本体前面の⏏ボタンを押す。**

4 **本体前面の⏻/RESETボタンを3秒以上押す。**

CDプレーヤーの操作のしかた

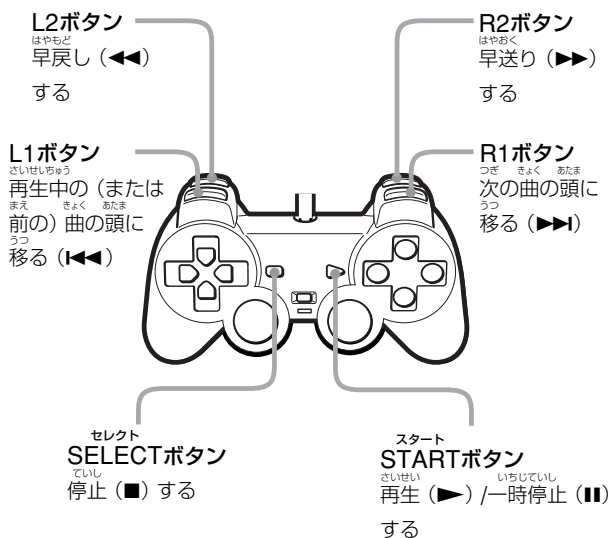
CDプレーヤーの操作は、画面上のアイコンまたはアナログコントローラ（DUALSHOCK 2）のダイレクトボタンで行うことができます。また、別売りの"PlayStation 2"専用DVDリモートコントローラ*からCDプレーヤーを操作することもできます。

* "PlayStation 2"専用DVDリモートコントローラ（SCPH-10420）

アイコン

方向キー左、右でアイコンを選び、○ボタン（決定）を押します。

- ▶ ：再生
- ❚❚ ：一時停止
- ■ ：停止
- |◀◀ ：再生中の曲または前の曲の頭出し
- ▶▶| ：次の曲の頭出し
- ◀◀ ：早戻し
- ▶▶ ：早送り

ダイレクトボタン

いろいろな再生のしかた

ブラウザ画面の音楽CDのアイコンを選び、△ボタン（詳細設定）を押すと、再生設定画面に移り、いろいろな再生のしかたを選ぶことができます。
お買い上げ時は、下線の付いている項目に設定されています。

■ 再生モード
- 標準
- プログラム
- シャッフル

■ 繰り返し
- 切
- 全曲
- 1曲

好きな順に再生する（プログラム再生）

1 **方向キー上、下で「再生モード」を選び、○ボタン（決定）を押す。**

2 **方向キー左、右で「プログラム」を選び、○ボタン（決定）を押す。**

3 **方向キー上、下、左、右で再生したいトラック番号を選び、○ボタン（決定）を押す。**
手順3を繰り返して再生したいトラック番号をすべて選びます。

4 **×ボタン（戻る）を押す。**
ブラウザ画面に戻ります。

5 **音楽CDのアイコンを選び、○ボタン（決定）を押す。**
トラックがプログラムされた順に表示されます。再生したいトラック番号を選び、○ボタン（決定）を押すと、再生が始まります。

音楽CDを聞く（つづき）

全曲リピート再生や1曲リピート再生と組み合わせて使うこともできます

手順4のあとに、全曲リピート再生や1曲リピート再生の手順に従って操作してください。
全曲リピート再生や1曲リピート再生について詳しくは、「全曲を繰り返し再生する（全曲リピート再生）」（28ページ）や「1曲を繰り返し再生する（1曲リピート再生）」（28ページ）をご覧ください。

全曲を順不同に再生する（シャッフル再生）

1 **方向キー上、下で「再生モード」を選び、○ボタン（決定）を押す。**

2 **方向キー左、右で「シャッフル」を選び、○ボタン（決定）を押す。**

3 **×ボタン（戻る）を押す。**
ブラウザ画面に戻ります。

4 **音楽CDのアイコンを選び、○ボタン（決定）を押す。**
トラックがシャッフルされて表示されます。再生したいトラック番号を選び、○ボタン（決定）を押すと、再生が始まります。

全曲リピート再生や1曲リピート再生と組み合わせて使うこともできます

手順3のあとに、全曲リピート再生や1曲リピート再生の手順に従って操作してください。
全曲リピート再生や1曲リピート再生について詳しくは、「全曲を繰り返し再生する（全曲リピート再生）」（28ページ）や「1曲を繰り返し再生する（1曲リピート再生）」（28ページ）をご覧ください。

全曲を繰り返し再生する（全曲リピート再生）

1 **方向キー上、下で「繰り返し」を選び、○ボタン（決定）を押す。**

2 **方向キー左、右で「全曲」を選び、○ボタン（決定）を押す。**

3 **×ボタン（戻る）を押す。**
ブラウザ画面に戻ります。

4 **音楽CDのアイコンを選び、○ボタン（決定）を押す。**
トラックが表示されます。再生したいトラック番号を選び、○ボタン（決定）を押すと、再生が始まります。

プログラム再生やシャッフル再生と組み合わせて使うこともできます

手順3のあとに、プログラム再生やシャッフル再生の手順に従って操作してください。
プログラム再生やシャッフル再生について詳しくは、「好きな順に再生する（プログラム再生）」（27ページ）や「全曲を順不同に再生する（シャッフル再生）」（28ページ）をご覧ください。

1曲を繰り返し再生する（1曲リピート再生）

1 **方向キー上、下で「繰り返し」を選び、○ボタン（決定）を押す。**

2 **方向キー左、右で「1曲」を選び、○ボタン（決定）を押す。**

3 **×ボタン（戻る）を押す。**
ブラウザ画面に戻ります。

4 **音楽CDのアイコンを選び、○ボタン（決定）を押す。**
トラックが表示されます。再生したいトラック番号を選び、○ボタン（決定）を押すと、再生が始まります。

プログラム再生やシャッフル再生と組み合わせて使うこともできます

手順3のあとに、プログラム再生やシャッフル再生の手順に従って操作してください。
プログラム再生やシャッフル再生について詳しくは、「好きな順に再生する（プログラム再生）」（27ページ）や「全曲を順不同に再生する（シャッフル再生）」（28ページ）をご覧ください。

トラックが表示された画面からも、再生設定画面に移れます

トラックが表示された画面左上の小さな音楽CDアイコンを方向キー上または左で選び、△ボタン（詳細設定）を押します。
再生設定画面に移り、「いろいろな再生のしかた」（27ページ）と同様の操作ができます。その場合、再生設定画面で×ボタン（戻る）を押すとトラックが表示されますので、再生したいトラック番号を選び、○ボタン（決定）を押してください。再生が始まります。

ご注意

音楽CDの再生設定は、次の場合に解除されます。
- 本体前面の⏏ボタンを押してディスクトレイを開けたとき
- 本体前面の⏻/RESETボタンを押して、リセットまたはスタンバイ状態にしたとき
- 本体背面のMAIN POWERスイッチで電源を切ったとき

音楽CDのDTS音声を再生するときのご注意

- DTSで記録されたCDを再生するとAV MULTI OUT（AVマルチ出力）端子からのアナログ音声出力からは極端に大きなノイズが出ます。アナログ出力をアンプにつないでいるときは、お手持ちのシステムが破損しないよう細心の注意を払う必要があります。DTS音声の再生をお楽しみいただくにはDIGITAL OUT（OPTICAL）（光デジタル出力）端子からの音声出力にDTSデコーダーを接続する必要があります。
- 「システム設定」で「光デジタル出力」を「切」に設定していると、光デジタル接続コードでつないで、音楽CDのDTS音声を再生しても音が出ません。

DVDビデオを見る

DVDビデオ再生時の操作上のご注意

DVDビデオはソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容に従って再生を行うため、操作した通りに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

DVDビデオを再生する

1. **本体背面のMAIN POWERスイッチで電源を入れる。**
2. **本体前面の⏻/RESETボタンを押す。**
3. **本体前面の⏏ボタンを押す。**
4. **再生したい面を下にして、DVDビデオをディスクトレイに載せる。**
5. **本体前面の⏏ボタンを押す。**
   ディスクトレイが閉まり、再生が始まります。

ご注意

- ディスクによっては、再生が始まらずメニューが表示されるものがあります。
- DVDビデオを見終わったあとに本体前面の⏏ボタンを押すと、ブラウザ画面が表示されます。
- 再生中に電源を切ると、設定は保存されません。
- "PlayStation 2"専用DVDリモートコントローラキット（別売り）などに同梱されているディスクのDVDプレーヤーのバージョンが、本機に内蔵されているDVDプレーヤーのバージョンより前のものであるときは、ディスクのDVDプレーヤーを"PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）にインストールする必要はありません。本機に内蔵されているDVDプレーヤーのバージョンは、本体設定画面でご確認いただけます（20ページ）。

DVDビデオをプログレッシブ方式で再生するときのご注意

プログレッシブ（525p）方式に対応したテレビなどに接続して、プログレッシブ映像をお楽しみになる場合は、別売りの"PlayStation 2"専用コンポーネントAVケーブル（SCPH-10100）または"PlayStation 2"専用D端子ケーブル（音声出力端子付き）（SCPH-10330）をお使いください。

プログレッシブ（525p）方式に対応していないテレビとつないでいるときや、コンポーネントAVケーブル、D端子ケーブル以外のケーブルで接続しているときに、誤って「プログレッシブ」を「入」に設定すると、画像が乱れたり何も表示されなくなります。

プログレッシブ方式については、「画像の設定をする（画面設定）」の「プログレッシブ」（43ページ）をご覧ください。

DVDビデオのDTS音声を再生するときのご注意

DTS音声信号は光デジタル接続コードでつないだときのみ出力されます。音声コードでつないだときには出力されません。

- DTSデコーダーを内蔵していないオーディオ機器につないでいるときは、「オーディオ設定」で「音声デジタル出力」の「DTS」を「入」に設定しないでください。「DTS」を「入」に設定すると、異音が出て耳に悪影響を及ぼしたりスピーカーを破損することがあります。
- 「オーディオ設定」で「音声デジタル出力」の「DTS」を「切」に設定していると、光デジタル接続コードでつないで、DVDビデオのDTS音声を再生しても音が出ません。

DVDビデオを再生するときのご注意

- ビデオデッキには接続せず直接テレビにつないでください。DVDビデオの映像をビデオデッキを経由してテレビで見ようとすると、一部のDVDビデオに使用されているコピープロテクション信号によって画像が乱れることがあります。（15ページ）
- ビデオ一体型テレビでDVDビデオを再生した場合、機種によっては、一部のDVDビデオに使用されているコピープロテクション信号によって画像が乱れることがあります。
- RGB入力のみ対応したAVマルチ入力端子のあるテレビで、DVDビデオをご覧になるときは、付属のAVケーブル（映像/音声一体型）など、別売りのマルチAVケーブル（VMC-AVM250*）以外の"PlayStation 2"に対応したケーブルをお使いください。マルチAVケーブルで接続すると、DVDビデオが正常に映りません。詳しくは、「AVマルチ入力端子のあるテレビにつなぐ」（16ページ）をご覧ください。

* VMC-AVM250はソニー株式会社の商品です。

DVDビデオを終える

1. **本体前面の⏏ボタンを押す。**
2. **ディスクを取り出す。**
3. **本体前面の⏏ボタンを押す。**
4. **本体前面の⏻/RESETボタンを3秒以上押す。**

DVDプレーヤーの操作のしかた

DVDプレーヤーの操作は、画面に表示した操作パネルやアナログコントローラ（DUALSHOCK 2）のダイレクトボタンで行うことができます。また、別売りの"PlayStation 2"専用DVDリモートコントローラからDVDプレーヤーを操作することもできます。

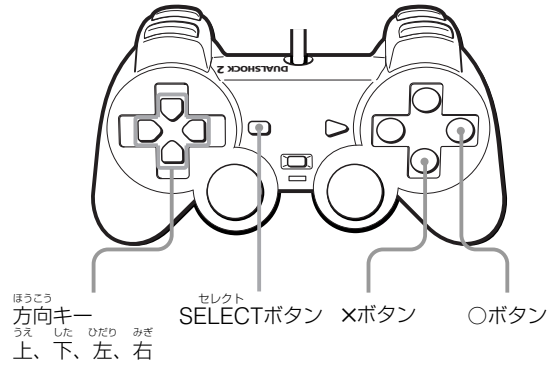
ご注意

ディスクによっては、異なる操作や禁止されている操作がありますので、再生するDVDビデオの説明書なども必ずご覧ください。

リモコンについて

- 本機は、型名がSCPH-10420の"PlayStation 2"専用DVDリモートコントローラ（別売り）に対応したDVDプレーヤーを搭載しておりますので、"PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）（別売り）を使うことなく、リモコンをお使いいただけます。また、受光部を内蔵しておりますので、"PlayStation 2"専用IRレシーバーを使うことなく、リモコンをお使いいただけます。リモコン操作について詳しくは、"PlayStation 2"専用DVDリモートコントローラ（SCPH-10420）の取扱説明書をご覧ください。
- 型名がSCPH-10170の"PlayStation 2"専用DVDリモートコントローラキット（別売り）のリモコンや、型名がSCPH-18000、SCPH-37000の"PlayStation 2"に同梱されているリモコンには、I/⏻/RESETボタンと⏏OPEN/CLOSEボタンがありません。そのためリモコンで電源のオン/スタンバイ/リセットと、ディスクトレイの開閉ができません。リモコンを使って電源のオン/スタンバイ/リセットと、ディスクトレイの開閉を行いたい場合は、型名がSCPH-10420の"PlayStation 2"専用DVDリモートコントローラ（別売り）をお買い求めください。

操作パネルを使う

画面に表示した操作パネルを使い、いろいろな項目を設定することができます。操作パネルは、アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）または別売りのリモコンから操作することができます。

操作パネル表示/非表示	SELECTボタン
決定	○ボタン
取り消し	×ボタン
選択	方向キー上、下、左、右

操作パネルを表示する

1 アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）のSELECTボタンを押す。

画面上に操作パネルが表示されます。

1 メニュー
メニューを表示させるときに選ぶ。

2 トップメニュー
メニューを表示させるときに選ぶ。

3 リターン
ひとつ前の選択画面に戻すときに選ぶ。

4 音声切り換え
DVDビデオの音声を切り換えるときに選ぶ。

5 アングル切り換え
DVDビデオのアングルを切り換えるときに選ぶ。

6 字幕切り換え
DVDビデオの字幕を切り換えるときに選ぶ。

7 ジャンプ
タイトル番号やチャプター番号、時間を指定して、再生するときに選ぶ。

8 設定
設定画面を使って、画質や音声の調整など、さまざまな出力の設定をするときに選ぶ。また、DVDビデオを再生するときの字幕の言語やメニューの表示言語、視聴年齢制限などの設定もできる。

9 時間表示
再生中のタイトル番号やチャプター番号およびその経過時間と残り時間を表示するときに選ぶ。

10 ? ヘルプ
アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）のダイレクトボタンの一覧を表示するときに選ぶ。

11 チャプタージャンプ/数値入力
再生するチャプター番号や数値を入力するときに選ぶ。

12 ⏮ 前
前の場面に戻すときに選ぶ。

13 ⏭ 次
次の場面に進めるときに選ぶ。

14 可変サーチ
画像を見ながら場面を探すときに選ぶ（逆方向）。

15 可変サーチ
画像を見ながら場面を探すときに選ぶ（再生方向）。

16 スロー
スロー再生をするときに選ぶ（逆方向）。

17 スロー
スロー再生をするときに選ぶ（再生方向）。

18 ► 再生
再生するときに選ぶ。

19 ❚❚ 一時停止
再生を一時止めるときに選ぶ。

20 ■ 停止
再生を止めるときに選ぶ。

21 A-B A-B リピート
繰り返し再生したい部分を指定して、再生するときに選ぶ。

22 SHUF シャッフル
タイトルやチャプターをランダム（無作為）な順番で再生するときに選ぶ。

23 PGM プログラム
タイトルやチャプターを好きな順番で再生するときに選ぶ。

24 リピート
ディスク内の全タイトルまたは1つのタイトル/チャプターを繰り返し再生するときに選ぶ。

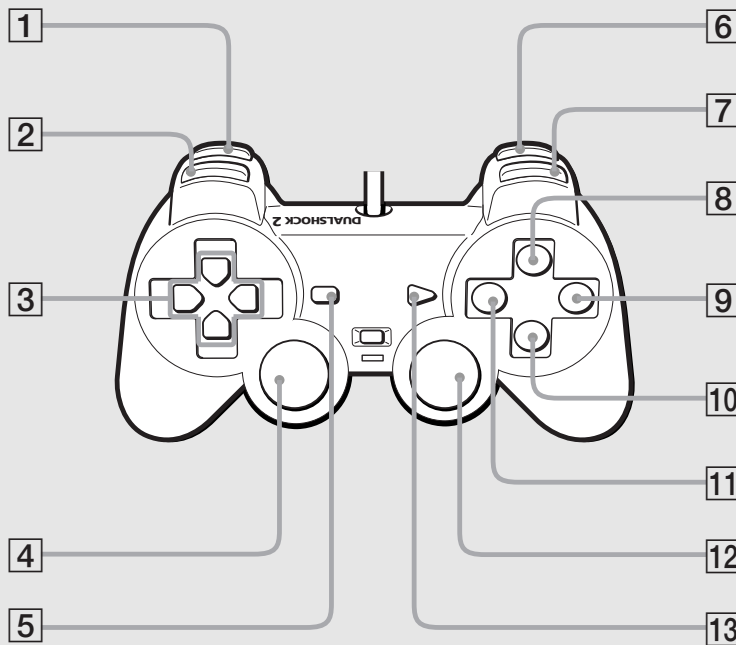
25 P LIST オリジナル/プレイリスト
DVD-RW（VRモード）の再生タイトルの種類を切り換えるときに選ぶ。

26 CLEAR クリア
選んだ数字や再生モードを取り消すときに選ぶ。

アナログコントローラ(DUALSHOCK 2)のダイレクトボタンを使う

アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）を使い、いろいろな項目を設定することができます。

ご注意

アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）のボタンによっては、画面に操作パネルが表示されているときに、操作を禁止しているものがあります。そのようなボタンで操作をするときは、画面に表示されている操作パネルを消してください。操作パネルについて詳しくは、「操作パネルを使う」（30ページ）をご覧ください。

1. L2ボタン（◀◀ 可変サーチ）
   画像を見ながら場面を探すときに押す（逆方向）。
2. L1ボタン（|◀◀ 前）
   前の場面に戻すときに押す。
3. 方向キー上、下、左、右
   画面に表示されている項目を選ぶときに押す。
4. L3ボタン（字幕 字幕切り換え）*
   DVDビデオの字幕を切り換えるときに押す。
5. SELECTボタン
   操作パネルを表示/非表示させるときに押す。
6. R2ボタン（▶▶ 可変サーチ）
   画像を見ながら場面を探すときに押す（再生方向）。
7. R1ボタン（▶▶| 次）
   次の場面に進めるときに押す。
8. △ボタン（メニュー）
   メニューを表示させるときに押す。
9. ○ボタン（決定）
   画面に表示されている項目を決定するときに押す。
10. ×ボタン（■ 停止）
    再生を止めるときに押す。
11. □ボタン（トップメニュー）
    メニューを表示させるときに押す。
12. R3ボタン（♪ 音声切り換え）*
    DVDビデオの音声を切り換えるときに押す。
13. STARTボタン（▶ 再生/❚❚ 一時停止）
    再生したり、再生を一時止めるときに押す。

* L3ボタン、R3ボタンのないコントローラは、ダイレクトボタンでの字幕切り換えおよび音声切り換えができません。字幕切り換えおよび音声切り換えを行う場合は、操作パネルをお使いください。

DVD-RW のオリジナルとプレイリストを選ぶ

DVD-RW（VR モード）には、DVD レコーダーなどで実際に記録して作成されるオリジナルのタイトルと、オリジナルを元に編集して作成されるプレイリストのタイトルの2 種類があります。このようなディスクでは、再生するタイトルの種類を選んで再生することができます。（本機で記録や編集はできません。再生のみできます。）

操作パネルを使う

1 停止中*に方向キー上、下、左、右で P LIST を選び、○ボタンを押す。

○ボタンを押すたびにオリジナルとプレイリストが切り換わります。

- オリジナル：実際に記録されているタイトルを再生します。
- プレイリスト：オリジナルを元に編集して作られたタイトルを再生します。

* つづき再生中は、選択できません。つづき再生を解除してから選択してください。つづき再生について詳しくは、「止めたところから再生する（つづき再生）」をご覧ください。

ご注意

- 通常はプレイリストが再生されます。
- プレイリストのタイトルがないディスクを再生すると、オリジナルのタイトルが再生されます。「プレイリスト」は選択できません。
- 複数のタイトルをまたいだA-B リピートはできません。
- DVD-RW（VR モード）では、スロー再生（逆方向）ができません。
- オリジナルは、次の場合に解除されます。
  – 本体前面の⏏ボタンを押して、ディスクトレイを開けたとき
  – 本体前面の⏻/RESETボタンを押して、リセットまたはスタンバイ状態にしたとき
  – 本体背面のMAIN POWERスイッチで電源を切ったとき

止めたところから再生する（つづき再生）

再生を止めたところのつづきから再生できます。

操作パネルを使う

1 再生中に方向キー上、下、左、右で■を選び、○ボタンを押す。

再生が止まり、画面に「次に再生するときは今のつづきから再生します。始めから再生するにはもういちど[停止] を押してください。」と表示されます。

2 方向キー上、下、左、右で▶を選び、○ボタンを押す。

手順1で再生を止めたところから、再生が始まります。

つづき再生を解除するには

手順1で再生を止めたあと、もう一度方向キー上、下、左、右で■を選び、○ボタンを押します。

ご注意

- プログラム再生中とシャッフル再生中には、つづき再生ができません。
- ディスクによっては、つづき再生ができないものがあります。
- 場面によっては、つづき再生ができないことがあります。
- 再生を止めたところによっては、つづき再生の始まりがずれることがあります。
- 次の場合、再生を止めたところの記録は消え、つづき再生はできません。
  – プログラム再生やシャッフル再生を設定したとき
  – 本体前面の⏏ボタンを押して、ディスクトレイを開けたとき
  – 本体前面の⏻/RESETボタンを押して、リセットまたはスタンバイ状態にしたとき
  – 本体背面のMAIN POWERスイッチで電源を切ったとき

好きな順に再生する（プログラム再生）

タイトルやチャプターを好きな順に選んでプログラムを作り、再生できます。

操作パネルを使う

1 **方向キー上、下、左、右で PGM を選び、○ボタンを押す。**

2 **方向キー上、下で項目番号を選び、○ボタンを押す。**

3 **方向キー上、下で再生したいタイトル番号を選び、○ボタンを押す。**

4 **方向キー上、下で再生したいチャプター番号を選び、○ボタンを押す。**

5 **つづけて、タイトルやチャプターを設定するときは、手順2〜手順4を繰り返す。**

6 **STARTボタンを押す。**

プログラム再生が始まります。
プログラム再生が終わっても、設定したプログラムは解除されません。方向キー上、下、左、右で PGM を選び、○ボタンを押すとプログラム設定画面が表示されます。
STARTボタンを押すと、設定したプログラムをもう一度再生します。

再生状態を確認するには

再生中に方向キー上、下、左、右で を選び、○ボタンを押すと、設定されている再生モードのアイコンが画面の右上に表示されます。

設定したプログラムを変更または解除するには

再生中の項目を変更および解除することはできません。

1 **方向キー上、下、左、右で PGM を選び、○ボタンを押す。**

2 **方向キー上、下で変更したい項目番号を選び、○ボタンを押す。**

3 **方向キー上、下で再生したいタイトル番号を選び、○ボタンを押す。**

4 **方向キー上、下で再生したいチャプター番号を選び、○ボタンを押す。**

設定したプログラムを解除したいときは、手順3で「クリア」を選び、○ボタンを押します。

設定したプログラムをすべて解除するには

1 **方向キー上、下、左、右で PGM を選び、○ボタンを押す。**

2 **方向キー上、下で「オールクリア」を選び、○ボタンを押す。**

シャッフル再生やリピート再生と組み合わせて使うこともできます

- プログラム再生 ＋ シャッフル再生
  プログラム再生中に方向キー上、下、左、右で SHUF を選び、○ボタンを押します。このとき、シャッフル再生は「シャッフル 入」になります。
  プログラム再生中にシャッフル再生をした場合、シャッフル再生の種類は「シャッフル 入」「シャッフル 切」のみとなります。
- プログラム再生 ＋ リピート再生
  プログラム再生中に方向キー上、下、左、右で を選び、○ボタンを押します。このとき、リピート再生は「リピート 入」になります。
  プログラム再生中にリピート再生をした場合、リピート再生の種類は「リピート 入」「リピート 切」のみとなります。

シャッフル再生やリピート再生について詳しくは、「順不同に再生する（シャッフル再生）」（35ページ）や「繰り返し再生する（リピート再生）」（36ページ）をご覧ください。

すべての再生モードの設定を解除して、通常の再生に戻すには

方向キー上、下、左、右で CLEAR を選び、○ボタンを押します。

ご注意

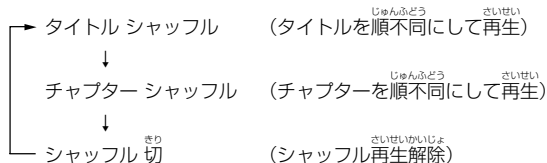
- 設定したプログラムを再生すると、A-B リピートは解除されます。
- ディスクによっては、プログラム再生ができないものがあります。
- タイトルやチャプターは、ディスクに記録されている数だけ画面に表示されます。
- プログラム再生は、次の場合に解除されます。
  – A-B リピートを設定したとき
  – メニューを表示したとき
- 設定したプログラムは、次の場合に解除されます。
  – 本体前面の⏏ボタンを押して、ディスクトレイを開けたとき
  – 本体前面の⏻/RESETボタンを押して、リセットまたはスタンバイ状態にしたとき
  – 本体背面のMAIN POWERスイッチで電源を切ったとき

順不同に再生する（シャッフル再生）

ディスクに記録された順番に関係なく、本機が自動的にタイトルやチャプターの順番を選んで、再生します。
再生する順番は、シャッフル再生するたびに変わります。

操作パネルを使う

1 再生中に方向キー上、下、左、右で SHUF を選び、○ボタンを押す。

○ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。
切り換わったあと、シャッフル再生が始まります。

→ タイトル シャッフル　（タイトルを順不同にして再生）
↓
チャプター シャッフル　（チャプターを順不同にして再生）
↓
シャッフル 切　（シャッフル再生解除）

再生状態を確認するには

再生中に方向キー上、下、左、右で 🕒 を選び、○ボタンを押すと、設定されている再生モードのアイコンが画面の右上に表示されます。

シャッフル再生を解除するには

方向キー上、下、左、右で SHUF を選び、○ボタンを繰り返し押して、「シャッフル 切」に切り換えます。

プログラム再生やリピート再生と組み合わせて使うこともできます

- シャッフル再生 ＋ プログラム再生
  シャッフル再生中に方向キー上、下、左、右で PGM を選び、○ボタンを押してプログラムを設定し、STARTボタンを押します。このとき、シャッフル再生は「シャッフル 入」になります。
  シャッフル再生中にプログラム再生をした場合、シャッフル再生の種類は「シャッフル 入」「シャッフル 切」のみとなります。
- シャッフル再生 ＋ リピート再生
  シャッフル再生中に方向キー上、下、左、右で 🔁 を選び、○ボタンを押します。このとき、リピート再生は「リピート 入」になります。
  シャッフル再生中にリピート再生をした場合、リピート再生の種類は「リピート 入」「リピート 切」のみとなります。

プログラム再生やリピート再生について詳しくは、「好きな順に再生する（プログラム再生）」（34ページ）や「繰り返し再生する（リピート再生）」（36ページ）をご覧ください。

すべての再生モードの設定を解除して、通常の再生に戻すには

方向キー上、下、左、右で CLEAR を選び、○ボタンを押します。

停止中もシャッフル再生の設定ができます

方向キー上、下、左、右で SHUF を選び、○ボタンを繰り返し押して、シャッフル再生の種類を選びます。方向キー上、下、左、右で▶を選び、○ボタンを押すと、シャッフル再生が始まります。

ご注意

- シャッフル再生を設定すると、A-B リピートは解除されます。
- ディスクによっては、シャッフル再生ができないものがあります。
- シャッフル再生は、次の場合に解除されます。
  – A-B リピートを設定したとき
  – メニューを表示したとき
  – 本体前面の⏏ボタンを押して、ディスクトレイを開けたとき
  – 本体前面の⏻/RESETボタンを押して、リセットまたはスタンバイ状態にしたとき
  – 本体背面のMAIN POWERスイッチで電源を切ったとき
- 「チャプターシャッフル」を選んだときに、ディスク内の200のチャプターまでシャッフル再生できます。200以上のチャプターがある場合には、自動的に200を選んでシャッフル再生します。

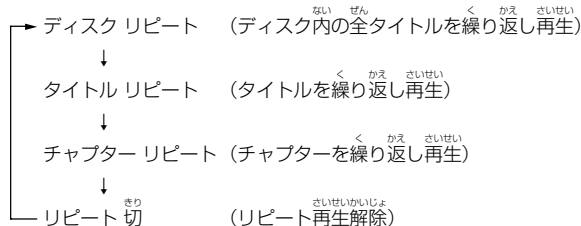
繰り返し再生する（リピート再生）

ディスク内の全タイトルまたは1つのタイトル/チャプターを繰り返し再生できます。

操作パネルを使う

1 再生中に方向キー上、下、左、右で を選び、○ボタンを押す。

○ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。
切り換わったあと、リピート再生が始まります。

→ ディスク リピート （ディスク内の全タイトルを繰り返し再生）
↓
タイトル リピート （タイトルを繰り返し再生）
↓
チャプター リピート （チャプターを繰り返し再生）
↓
リピート 切 （リピート再生解除）

再生状態を確認するには

再生中に方向キー上、下、左、右で を選び、○ボタンを押すと、設定されている再生モードのアイコンが画面の右上に表示されます。

リピート再生を解除するには

方向キー上、下、左、右で を選び、○ボタンを繰り返し押して、「リピート 切」に切り換えます。

プログラム再生やシャッフル再生と組み合わせて使うこともできます

- リピート再生 ＋ プログラム再生
  リピート再生中に方向キー上、下、左、右で PGM を選び、○ボタンを押してプログラムを設定し、STARTボタンを押します。このとき、リピート再生は「リピート 入」になります。
  リピート再生中にプログラム再生をした場合、リピート再生の種類は「リピート 入」「リピート 切」のみとなります。
- リピート再生 ＋ シャッフル再生
  リピート再生中に方向キー上、下、左、右で SHUF を選び、○ボタンを押します。このとき、リピート再生は「リピート 入」になります。
  リピート再生中にシャッフル再生をした場合、リピート再生の種類は「リピート 入」「リピート 切」のみとなります。

プログラム再生やシャッフル再生について詳しくは、「好きな順に再生する（プログラム再生）」（34ページ）や「順不同に再生する（シャッフル再生）」（35ページ）をご覧ください。

すべての再生モードの設定を解除して、通常の再生に戻すには

方向キー上、下、左、右で CLEAR を選び、○ボタンを押します。

停止中もリピート再生の設定ができます

方向キー上、下、左、右で を選び、○ボタンを繰り返し押して、リピート再生の種類を選びます。方向キー上、下、左、右で►を選び、○ボタンを押すと、リピート再生が始まります。

ご注意

- リピート再生を設定すると、A-B リピートは解除されます。
- ディスクによっては、リピート再生ができないものがあります。
- リピート再生は、次の場合に解除されます。
  – A-B リピートを設定したとき
  – 本体前面の⏏ボタンを押して、ディスクトレイを開けたとき
  – 本体前面の⏻/RESETボタンを押して、リセットまたはスタンバイ状態にしたとき
  – 本体背面のMAIN POWERスイッチで電源を切ったとき

再生したい部分だけを繰り返す（A-B リピート）

繰り返し再生したい部分を1か所指定して、再生できます。
語学学習や歌詞を覚えるときに便利です。

操作パネルを使う

1 再生中に方向キー上、下、左、右でA-Bを選び、繰り返したい部分の始点（A 点）で○ボタンを押す。
始点（A 点）が設定されます。

2 方向キー上、下、左、右でA-Bを選び、繰り返したい部分の終点（B 点）で○ボタンを押す。
終点（B 点）が設定され、指定した部分が繰り返し再生されます。

再生状態を確認するには

再生中に方向キー上、下、左、右で を選び、○ボタンを押すと、設定されている再生モードのアイコンが画面の右上に表示されます。

A-B リピートを解除するには

方向キー上、下、左、右で CLEAR を選び、○ボタンを押します。

ご注意

- ディスクによっては、A-B リピートの設定ができないものがあります。
- 場面によっては、A-B リピートの設定ができないことがあります。
- A-B リピートの設定ができるのは、1か所のみです。
- 複数のタイトルをまたいだA-B リピートはできません。
- 設定したA-B リピートは、次の場合に解除されます。
  – プログラム再生やシャッフル再生、リピート再生を設定したとき
  – 停止したとき
  – メニューを表示したとき
  – 本体前面の⏏ボタンを押して、ディスクトレイを開けたとき
  – 本体前面の⏻/RESETボタンを押して、リセットまたはスタンバイ状態にしたとき
  – 本体背面のMAIN POWERスイッチで電源を切ったとき
- A-B リピートを設定すると、プログラム再生やシャッフル再生、リピート再生は解除されます。

いろいろな機能を使う

いろいろな項目を設定することができます。
画面の操作パネルをお使いいただくときは、「操作パネルを使う」(30ページ)をご覧ください。

メニューを使う

DVDビデオには、ディスクの内容をメニューで選択できるものがあります。このようなDVDビデオを再生するときは、再生したい項目、表示したい字幕の言語、聞きたい音声の言語などをメニューで選べます。

操作パネルを使う

1 方向キー上、下、左、右で または を選び、○ボタンを押す。
メニューが表示されます。メニューはDVDビデオにより異なります。

2 方向キー上、下、左、右で項目を選び、○ボタンを押す。

ひとつ前の選択画面に戻るには

方向キー上、下、左、右でを選び、○ボタンを押します。
DVDビデオによっては、操作できないことがあります。

アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）を使う

1 △ボタンまたは□ボタンを押す。
メニューが表示されます。メニューはDVDビデオによって異なります。

2 方向キー上、下、左、右で項目を選び、○ボタンを押す。

ご注意
- DVDビデオには、メニューがないものがあります。
- DVDビデオには、「メニュー」を「DVDメニュー」や「タイトルメニュー」、「タイトル」と表示しているものがあります。

音声を切り換える

DVDビデオには、複数の言語（マルチランゲージ）で音声が記録されているものがあります。再生中に好きな言語の音声に切り換えられます。

操作パネルを使う

1 方向キー上、下、左、右で ♪ を選び、○ボタンを押す。
○ボタンを押すたびに言語が切り換わります。

アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）を使う

1 R3ボタンを押す。
R3ボタンを押すたびに言語が切り換わります。

ご注意
- DVDビデオには、複数の言語が記録されていても切り換えを禁止しているものがあります。
- タイトルを変えたとき、音声が切り換わることがあります。
- 設定画面の「オーディオ設定」で、「音声デジタル出力」の「DTS」を「切」に設定すると、DTS音声を含むDVDビデオを再生しても、音声記録方式をDTSに切り換えることはできません。

アングルを切り換える

DVDビデオには、同じ場面が複数のアングルで記録されているもの（マルチアングル）があります。このようなDVDビデオでは、再生中に複数のアングルが記録されている部分で、好きなアングルに切り換えることができます。
例えば、動いている電車のシーンの再生中に電車の正面から見ていた景色を右の窓からの景色に切り換えて見ることができます。

操作パネルを使う

1 方向キー上、下、左、右で を選び、○ボタンを押す。
○ボタンを押すたびにアングルが切り換わります。
アングルの切り換え方法は、DVDビデオによって異なります。画面の指示に従って操作を行ってください。

ご注意
- 切り換えられるアングルの数は、DVDビデオによっても、場面によっても異なります。DVDビデオのその場面に記録されているアングルの数だけ切り換えることができます。
- DVDビデオには、複数のアングルが記録されていても切り換えを禁止しているものがあります。

字幕を表示する

DVDビデオには、字幕が記録されているものがあります。このようなDVDビデオでは、再生中に字幕を表示したり切り換えたりできます。また複数の言語で字幕が記録されているときは、字幕を切り換えて語学の学習に役立てることができます。

操作パネルを使う

1 方向キー上、下、左、右で を選び、○ボタンを押す。
○ボタンを押すたびに字幕の言語が切り換わります。選べる言語はDVDビデオによって異なります。

字幕を消すには

方向キー上、下、左、右で [字幕アイコン] を選び、○ボタンを繰り返し押して、「字幕　切」を表示します。

アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）を使う

1 L3ボタンを押す。

L3ボタンを押すたびに字幕の言語が切り換わります。選べる言語はDVDビデオによって異なります。

字幕を消すには

L3ボタンを繰り返し押して、「字幕　切」を表示します。

ご注意

- 字幕が記録されていないディスクでは、字幕を表示することはできません。
- DVDビデオには、字幕が記録されていても字幕表示を禁止しているものがあります。
- DVDビデオには、字幕を消すことを禁止しているものがあります。
- 記録されている字幕の言語の種類や数は、DVDビデオによって異なります。
- DVDビデオには、複数の字幕が記録されていても切り換えを禁止しているものがあります。
- DVDビデオを再生中、タイトルを変えたときに字幕が切り換わることがあります。

再生する場所を選ぶ

タイトル番号やチャプター番号、時間を指定して、再生したい場所を選ぶことができます。

チャプター番号を指定して、再生したい場所を選ぶ

操作パネルを使う

1 **再生中に方向キー上、下、左、右で数字を選び、○ボタンを押す、を繰り返して再生したいチャプター番号を入力する。**

選んだ場所の再生が始まります。

タイトル番号やチャプター番号、時間を指定して、再生したい場所を選ぶ

操作パネルを使う

1 **再生中に方向キー上、下、左、右で [矢印アイコン] を選び、○ボタンを押す。**

2 **方向キー左、右で指定したい項目を選び、○ボタンを押す。**

- Title ＝ タイトル番号を指定します。
- Chapter ＝ チャプター番号を指定します。
- C XX:XX:XX（または T XX:XX:XX）＝ チャプター（またはタイトル）の経過時間を指定します。

3 **方向キー上、下、左、右で再生したい場所を選び、○ボタンを押す。**

選んだ場所の再生が始まります。

ご注意

チャプターまたはタイトルの残り時間から場所を選ぶことはできません。

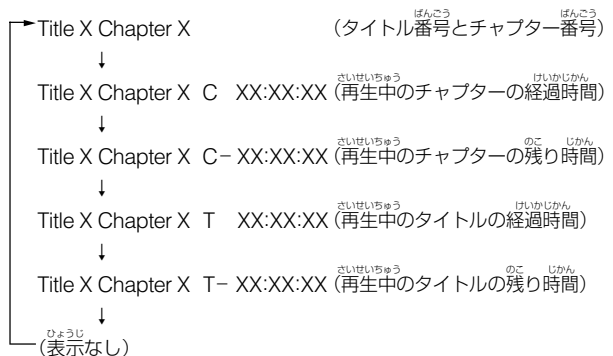
情報を表示する

再生中のタイトル番号やチャプター番号およびその経過時間と残り時間を表示することができます。また、プログラム再生やシャッフル再生などの再生モードを設定しているときは、その情報が画面右上に表示されます。

操作パネルを使う

1 **再生中または一時停止中に方向キー上、下、左、右で [アイコン] を選び、○ボタンを押す。**

○ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。

Title X Chapter X　（タイトル番号とチャプター番号）
↓
Title X Chapter X　C　XX:XX:XX（再生中のチャプターの経過時間）
↓
Title X Chapter X　C− XX:XX:XX（再生中のチャプターの残り時間）
↓
Title X Chapter X　T　XX:XX:XX（再生中のタイトルの経過時間）
↓
Title X Chapter X　T− XX:XX:XX（再生中のタイトルの残り時間）
↓
（表示なし）

ご注意

タイトルによっては、残り時間が表示されないことがあります。

ダイレクトボタンの一覧を表示する

アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）のダイレクトボタンの使いかたを一覧表示します。

操作パネルを使う

1 方向キー上、下、左、右で ? を選び、○ボタンを押す。
一覧が表示されます。
○ボタンを押すたびに表示の入/切が切り換わります。

見たいところや聞きたいところを探す（可変サーチ）

再生をしながら早送りや早戻しをして、見たいところや聞きたいところを探すことができます。

操作パネルを使う

1 再生中に方向キー上、下、左、右で ⏪（逆方向）または ⏩（再生方向）を選び、○ボタンを押したまま、方向キー上または下を押す。
○ボタンを押したまま、方向キー上または下を押すと、以下のようにサーチする速さが切り換わります。

サーチ3
↑
サーチ2
↓
サーチ1
↓
スロー

2 見たいところや聞きたいところになったら、○ボタンを離す。
通常の再生に戻ります。

アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）を使う

1 再生中に、L2ボタンまたはR2ボタンを押したまま、方向キー上または下を押す。
L2ボタンまたはR2ボタンを押したまま、方向キー上または下を押すと、以下のようにサーチする速さが切り換わります。

サーチ3
↑
サーチ2
↓
サーチ1
↓
スロー

2 見たいところや聞きたいところになったら、L2ボタンまたはR2ボタンを離す。
通常の再生に戻ります。

ご注意
DVDビデオには、操作が禁止されているものがあります。

スロー再生をする

操作パネルを使う

1 再生中に方向キー上、下、左、右で ◀I（逆方向）または I▶（再生方向）を選び、○ボタンを押す。
スロー再生が始まります。

スロー再生を解除するには

方向キー上、下、左、右で▶を選び、○ボタンを押します。
通常の再生に戻ります。

ご注意
DVD-RW（VR モード）では、スロー再生（逆方向）ができません。

設定画面を使う

設定画面を使って、画質や音声の調整など、さまざまな出力の設定ができます。また、DVDビデオを再生するときの字幕の言語やメニューの表示言語、視聴年齢制限などの設定もできます。設定画面の項目について詳しくは、42～46ページをご覧ください。
一部の設定は、つづき再生中は選択できません。つづき再生を解除してから選択してください。つづき再生について詳しくは、「止めたところから再生する（つづき再生）」（33ページ）をご覧ください。

操作パネルを使う

1 方向キー上、下、左、右で 🧰 を選び、○ボタンを押す。
設定画面が表示されます。

2 方向キー左、右で「言語設定」「画面設定」「視聴設定」「オーディオ設定」の中から設定したい項目を選び、○ボタンを押す。
選択した設定項目の画面が表示されます。

3 方向キー上、下で項目を選び、○ボタンを押す。
項目の設定内容が一覧表示されます。

4 方向キー上、下で設定内容を選び、○ボタンを押す。
設定内容が選ばれ、設定が終了します。

再生中に変更された内容は、停止*したときや、ディスクを取り出すときに本体に保存されます。停止*する前や、ディスクを取り出す前に本体前面の1/RESETボタンを押したり、本体背面のMAIN POWERスイッチで電源を切ると、変更した内容は保存されません。
* つづき再生も含めます。

設定項目一覧表

お買い上げ時は、下線の付いている項目に設定されています。

表示言語や音声言語を設定する（言語設定）

言語設定画面では、画面や音声の言語を設定することができます。お買い上げ時は、下線の付いている項目に設定されています。

設定画面で「言語設定」を選びます。詳しくは、「設定画面を使う」（40ページ）をご覧ください。

再生中に変更された内容は、停止*したときや、ディスクを取り出すときに本体に保存されます。停止*する前や、ディスクを取り出す前に本体前面の⏻/RESETボタンを押したり、本体背面のMAIN POWERスイッチで電源を切ると、変更した内容は保存されません。

* つづき再生も含めます。

ご注意

- DVDビデオに記録されていない言語を選んだときは、記録されている言語のいずれかが選ばれます（「表示言語」を除く）。
- 「メニュー言語」または「音声言語」、「字幕言語」で言語を選んでも、DVDビデオによっては選んだ言語で表示されないことがあります。

■ 表示言語

画面に表示されている言語を切り換えます。

- 日本語
- 英語

■ メニュー言語

DVDビデオに記録されている「メニュー」の言語を切り換えます。

この項目は、つづき再生中は選択できませんので、つづき再生を解除してから選択してください。つづき再生について詳しくは、「止めたところから再生する（つづき再生）」（33ページ）をご覧ください。

- 日本語
- 英語
- 中国語
- ドイツ語
- フランス語
- イタリア語
- スペイン語
- ポルトガル語
- オランダ語
- デンマーク語
- スウェーデン語
- フィンランド語
- ノルウェー語
- ロシア語
- 韓国語
- 言語一覧*

* 「言語一覧」を選んだときは、言語コード一覧表から設定したい言語を選びます。

■ 音声言語

DVDビデオに記録されている音声の言語を切り換えます。

この項目は、つづき再生中は選択できませんので、つづき再生を解除してから選択してください。つづき再生について詳しくは、「止めたところから再生する（つづき再生）」（33ページ）をご覧ください。

- 日本語
- 英語
- 中国語
- ドイツ語
- フランス語
- イタリア語
- スペイン語
- ポルトガル語
- オランダ語
- デンマーク語
- スウェーデン語
- フィンランド語
- ノルウェー語
- ロシア語
- 韓国語
- 言語一覧*

* 「言語一覧」を選んだときは、言語コード一覧表から設定したい言語を選びます。

■ 字幕言語

DVDビデオに記録されている字幕の言語を切り換えます。

この項目は、つづき再生中は選択できませんので、つづき再生を解除してから選択してください。つづき再生について詳しくは、「止めたところから再生する（つづき再生）」（33ページ）をご覧ください。

- 日本語
- 英語
- 中国語
- ドイツ語
- フランス語
- イタリア語
- スペイン語
- ポルトガル語
- オランダ語
- デンマーク語
- スウェーデン語
- フィンランド語
- ノルウェー語
- ロシア語
- 韓国語
- 音声連動*1
- 言語一覧*2

*1「音声連動」を選ぶと、音声の言語に合わせて字幕の言語が切り換わります。

*2「言語一覧」を選んだときは、言語コード一覧表から設定したい言語を選びます。

画像の設定をする（画面設定）

接続するテレビの画面サイズや画像などを設定します。お買い上げ時は、下線の付いている項目に設定されています。

設定画面で「画面設定」を選びます。詳しくは、「設定画面を使う」（40ページ）をご覧ください。

再生中に変更された内容は、停止*したときや、ディスクを取り出すときに本体に保存されます。停止*する前や、ディスクを取り出す前に本体前面の⏻/RESETボタンを押したり、本体背面のMAIN POWERスイッチで電源を切ると、変更した内容は保存されません。

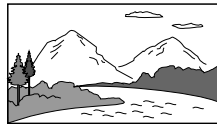
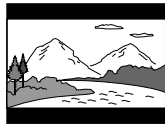
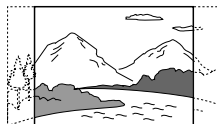
* つづき再生も含めます。

■ TVタイプ

ワイド画像を再生するときに出力する画面の形を、つないだテレビに合わせて設定します。

この項目は、つづき再生中は選択できませんので、つづき再生を解除してから選択してください。つづき再生について詳しくは、「止めたところから再生する（つづき再生）」（33ページ）をご覧ください。

- 16:9：ワイドテレビまたはワイドモードのある通常のテレビで見るとき。
- 4:3 レターボックス：通常のテレビで、ワイド画像を横長に表示して画面の上下に帯を入れるとき。
- 4:3 パンスキャン：通常のテレビに、ワイド画像の一部を自動的にカットして画面全体に表示するとき。

16：9

4:3 レターボックス

4:3 パンスキャン

ご注意

- DVDビデオには、決まった画面の形が自動的に出力されるものがあります。
- 「プログレッシブ」を「入」に設定しているときは、「TVタイプ」は「16:9」に設定されます。

■ DNR*

画像のざらつきを減らし、映像をはっきりさせることができます。

- 切
- DNR 1
- DNR 2

* DNRとはDigital Video Noise Reductionの略です。

ご注意

- 「DNR 1」より「DNR 2」のほうが画像のざらつきは軽減されますが、残像が現れやすくなります。残像が現れるときは、「切」に設定してください。
- DVDビデオには、DNRの効果がわかりにくいものがあります。
- 「プログレッシブ」を「入」に設定しているときは、「DNR」は「切」に設定されます。

■ 輪郭強調

画像の輪郭をくっきりさせたり、やわらかくさせたりして、好みの画質に調整することができます。値が大きいほど画像の輪郭が強調されます。

- ＋2
- ＋1
- 0：通常は「0」に設定しておく。
- −1
- −2

■ 状態表示

画面の右上に操作情報を表示したり消したりできます。

- 入：DVDプレーヤーを操作しているときに、数秒間操作情報が表示される。
- 切：操作情報を表示しない。

■ プログレッシブ

映像の1フレーム（コマ）を2つのフィールド画像で半分ずつ表示するインターレース方式に対して、1フレームを1つの画像で表示する方式です。従来のインターレース方式が1秒を30フレーム（60フィールド）で構成するのに対して、はじめから1秒を60フレームで構成するため、静止画や文字、横線の多い場面などで高品質な映像を再現できます。
この項目は、つづき再生中は選択できませんので、つづき再生を解除してから選択してください。つづき再生について詳しくは、「止めたところから再生する（つづき再生）」（33ページ）をご覧ください。

- 入：プログレッシブ（525p）方式に対応したテレビにつないでいるときに選ぶ。
- 切：通常のテレビ（インターレース方式）につないでいるときに選ぶ。

ご注意

- プログレッシブ（525p）方式に対応していないテレビとつないでいるときや、別売りの"PlayStation 2"専用コンポーネントAVケーブル（SCPH-10100）や"PlayStation 2"専用D端子ケーブル（音声出力端子付き）（SCPH-10330）以外のケーブルで接続しているときに、誤って「プログレッシブ」を「入」に設定すると、画像が乱れたり何も表示されなくなります。
その場合は、DVDビデオをディスクトレイに入れた状態で本体前面の⏻/RESETボタンを押してリセットし、すぐにアナログコントローラ（DUALSHOCK 2）*のSTARTボタンを押したままにしてください。「プログレッシブ」が「切」に戻り、DVDビデオの画像が正常に表示されるようになります。また、「本体設定をする（本体設定画面）」の「プログレッシブ設定解除」からも設定を解除できます。（21ページ）

* アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）は、必ずコントローラ端子1に接続してください。

- DVD-RW（VRモード）を再生するときは、インターレース方式のみの映像出力となります。
また、「プログレッシブ」設定項目が画面に表示されません。
- DVDの映像素材には、大きく分けてビデオ素材とフィルム素材があります。ビデオ素材は、1秒30フレーム、60フィールドでDVDに記録されたもので、一般的にはテレビドラマやテレビアニメーションなどの番組があります。フィルム素材は、1秒24コマでDVDに記録されたもので、映画フィルムの多くがこれにあたります。DVDの中には、ビデオ素材とフィルム素材の両方が記録されているものがあります。
ビデオ素材のディスクをプログレッシブ出力する場合、映像補完処理を行っているため、画像によっては映像の一部が不自然になることがあります。そのような場合は、「プログレッシブ」を「切」に設定しインターレース方式でご覧ください。

視聴項目を設定する（視聴設定）

視聴年齢制限などを設定します。
お買い上げ時は、下線の付いている項目に設定されています。

設定画面で「視聴設定」を選びます。詳しくは、「設定画面を使う」（40ページ）をご覧ください。

再生中に変更された内容は、停止*したときや、ディスクを取り出すときに本体に保存されます。停止*する前や、ディスクを取り出す前に本体前面の⏻/RESETボタンを押したり、本体背面のMAIN POWERスイッチで電源を切ると、変更した内容は保存されません。
* つづき再生も含めます。

■ 一時停止モード

一時停止にしたときの画像の状態を設定します。

- 自動：動きの激しい被写体のある画像がぶれずに見られる。通常は「自動」にしておく。
- フレーム：動きの少ない被写体の画像が高い解像度で見られる。

■ 視聴年齢制限

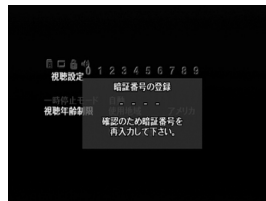
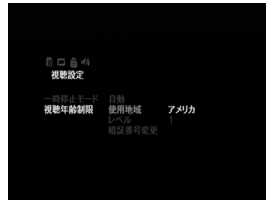
DVDビデオには地域ごとに設けられたレベル（見る人の年齢など）によって視聴を制限しているものがあります。視聴年齢制限機能を使うと、この視聴年齢制限レベルを設定することができます。
この項目は、つづき再生中は選択できませんので、つづき再生を解除してから選択してください。つづき再生について詳しくは、「止めたところから再生する（つづき再生）」（33ページ）をご覧ください。

視聴年齢制限を設定する

1 方向キー上、下で「視聴年齢制限」を選び、○ボタンを押す。

暗証番号が登録されていないとき
暗証番号の登録画面が表示されます。

暗証番号がすでに登録されているとき
暗証番号の入力画面が表示されます。

2 方向キー左、右で数字を選び、○ボタンを押す、を繰り返して4桁の暗証番号を入力する（数字を取り消すときは、×ボタンを押す）。
暗証番号を登録するときは、確認のためもう一度入力します。
使用地域の設定、視聴年齢制限のレベル設定、および暗証番号の変更ができるようになります。

3 方向キー上、下で「使用地域」を選び、○ボタンを押す。
「使用地域」の選択項目が表示されます。

4 方向キー上、下で視聴年齢制限レベルの基準にする地域を選び、○ボタンを押す。
「その他」を選んだときは、「地域コード」（45ページ）で「コード」を確認し、入力します。
方向キー上、下で1文字目のアルファベットを選び、方向キー右を押します。方向キー上、下で2文字目のアルファベットを選び、○ボタンを押します。

5 方向キー上、下で「レベル」を選び、○ボタンを押す。
「レベル」の選択項目が表示されます。

6 **方向キー上、下で制限するレベルを選び、○ボタンを押す。**
視聴年齢制限の設定が終了します。
レベルの数字が小さいほど、制限が厳しくなります。

地域コード

使用地域	コード	使用地域	コード
イギリス	GB	中国	CN
イタリア	IT	デンマーク	DK
インドネシア	ID	ドイツ	DE
オーストリア	AT	日本	JP
オランダ	NL	ノルウェー	NO
カナダ	CA	フィリピン	PH
韓国	KR	フィンランド	FI
シンガポール	SG	フランス	FR
スイス	CH	ベルギー	BE
スウェーデン	SE	香港	HK
スペイン	ES	マレーシア	MY
タイ	TH	ロシア	RU
台湾	TW		

暗証番号を変更したいときは

1 **「視聴年齢制限を設定する」の手順2のあと、方向キー上、下で「暗証番号変更」を選び、○ボタンを押す。**
暗証番号の変更画面が表示されます。

2 **方向キー左、右で数字を選び、○ボタンを押す、を繰り返して4桁の暗証番号を入力する。**
確認のため、もう一度入力します。
変更が完了します。

視聴年齢制限のレベルを設定したディスクを再生したいときは

1 **ディスクを入れる。**
再生が自動的に始まったあと、視聴年齢制限の設定されているところで、視聴年齢制限レベルを一時変更させる画面が表示されます。

2 **方向キー左、右で「はい」を選び、○ボタンを押す。**
暗証番号の入力画面が表示されます。

3 **方向キー左、右で数字を選び、○ボタンを押す、を繰り返して4桁の暗証番号を入力する。**
再生が再開されます。
DVDビデオの再生をやめると、視聴年齢制限は設定されていたレベルに戻ります。

登録した暗証番号を忘れてしまったときは

「視聴年齢制限を設定する」の手順1と手順2に従って操作します。手順1で、暗証番号の入力画面が表示されたら、SELECTボタンを押します。暗証番号の消去画面が表示されたら、方向キー左、右で数字を選び、○ボタンを押す、を繰り返して4桁の数字「7444」を入力します。以前の暗証番号が消え、暗証番号の登録画面が表示されます。手順2に従って、新しい暗証番号を登録してください。

ご注意

- 視聴年齢制限機能がないDVDビデオは、本機で視聴年齢制限をしても再生は制限できません。
- 暗証番号の設定をしないと、設定値の変更ができません。
- DVDビデオには、視聴年齢制限レベルの変更をせずに暗証番号のみ入力するものもあります。
- 視聴年齢制限機能のあるDVDビデオには、プログラム再生、シャッフル再生、リピート再生、A-B リピートができないものがあります。

視聴年齢制限を解除するには

停止中*に、「視聴年齢制限を設定する」の手順6で「レベル」を「切」にします。

* つづき再生中は、選択できません。つづき再生を解除してから選択してください。つづき再生について詳しくは、「止めたところから再生する（つづき再生）」（33ページ）をご覧ください。

音声を設定する（オーディオ設定）

再生するときの音の設定を、再生や接続などの条件に合わせて設定します。
お買い上げ時は、下線の付いている項目に設定されています。

設定画面で「オーディオ設定」を選びます。詳しくは、「設定画面を使う」（40ページ）をご覧ください。

再生中に変更された内容は、停止*したときや、ディスクを取り出すときに本体に保存されます。停止*する前や、ディスクを取り出す前に本体前面の⏻/RESETボタンを押したり、本体背面のMAIN POWERスイッチで電源を切ると、変更した内容は保存されません。

* つづき再生も含めます。

■ 音声デジタル出力

光デジタル接続コードを使って、本体背面のDIGITAL OUT（OPTICAL）（光デジタル出力）端子に次のような機器をつないだときの、音声信号の出力を設定します。

－デジタル端子のあるアンプ
－ドルビーデジタルまたはDTSデコーダー内蔵のオーディオ機器
－MDデッキまたはDATデッキ
接続について詳しくは、「デジタル端子付きのアンプやMDデッキ、DATデッキにつなぐ」（17ページ）をご覧ください。

- 光デジタル出力
  DIGITAL OUT（OPTICAL）（光デジタル出力）端子の出力を設定します。
  – 入：光デジタル接続コードでつないだときは「入」を選ぶ。「入」を選んだら、「ドルビーデジタル」および「DTS」を設定する。
  – 切：DIGITAL OUT端子から音声信号を出力しない。

ご注意

「切」を選んでいるときは、「ドルビーデジタル」および「DTS」は設定できません。

- ドルビーデジタル
  ドルビーデジタル信号の出力を設定します。
  – 入：ドルビーデジタルデコーダーを内蔵したオーディオ機器につないで音を出すときに選ぶ。
  ドルビーデジタルデコーダーを内蔵していないオーディオ機器をつないだときは、この設定にしない。誤って設定すると、音が出なかったり異音が出て耳に悪影響を及ぼしたりスピーカーを破損したりすることがある。
  – 切：ドルビーデジタルデコーダーを内蔵していないオーディオ機器につないだときに選ぶ。

- DTS
  DTS信号の出力を設定します。
  この項目は、つづき再生中は選択できませんので、つづき再生を解除してから選択してください。つづき再生について詳しくは、「止めたところから再生する（つづき再生）」（33ページ）をご覧ください。
  – 入：DTSデコーダーを内蔵しているオーディオ機器をつないでいるときに選ぶ。
  DTSデコーダーを内蔵していないオーディオ機器をつないでいるときは、この設定にしない。誤って設定すると、音が出なかったり異音が出て耳に悪影響を及ぼしたり、スピーカーを破損したりすることがある。
  – 切：DTSデコーダーを内蔵していないオーディオ機器をつないでいるときに選ぶ。

■ 音声トラック自動選定モード

複数の音声記録方式が用意されているDVDビデオを再生するときに、チャンネル数の最も多い音声記録方式（PCM、ドルビーデジタル、DTS）を優先して再生することができます。
この項目は、つづき再生中は選択できませんので、つづき再生を解除してから選択してください。つづき再生について詳しくは、「止めたところから再生する（つづき再生）」（33ページ）をご覧ください。

- 入：優先する。
- 切：優先しない。

ご注意

- この項目を「入」に設定すると、言語が切り換わることがあります。これは「音声トラック自動選定モード」の設定が「言語設定」の「音声言語」（42ページ）より優先されるためです。
- この項目を「入」に設定し、DTS音声のチャンネル数が最も多い場合でも、「オーディオ設定」の「音声デジタル出力」で「DTS」を「切」に設定していると、DTS音声は再生されません。
- PCM、ドルビーデジタル、DTSのチャンネル数が同じだった場合、PCM、ドルビーデジタル、DTSの順で優先されます。
- DVDビデオによっては優先する音声があらかじめ決められていることがあります。この場合、この項目を「入」に設定しても、チャンネル数の多い音声記録方式が優先されないことがあります。

■ DVDビデオ音量

DVDビデオの音声出力レベルが低いとき、DVDビデオの音量を上げることができます。
「音声デジタル出力」の「光デジタル出力」が「切」になっているときのみ、変更することができます。

- ＋2：音量を上げる。
- ＋1：音量を上げる。
- 標準：通常は「標準」にする。

ご注意

- 「＋2」または「＋1」に設定した場合、音量が大きい場面では、音が歪むことがあります。音が歪むときは「標準」にしてください。
- 音量を大きくしすぎると、耳に悪影響を及ぼしたり、スピーカーを破損したりすることがありますので、ご注意ください。

主な仕様

一般	電源	AC100V 50/60Hz
	消費電力	約39W
	外形寸法	約301×78×182mm (幅×高さ×奥行き)
	質量	約2.0kg
動作環境温度	5℃〜35℃	
前面入出力端子	コントローラ端子 (2) MEMORY CARD差込口 (2) (USB) 端子 (2)	
背面入出力端子	EXPANSION BAY (拡張ベイ) (1)	
背面出力端子	AV MULTI OUT (AVマルチ出力) 端子 (1) DIGITAL OUT (OPTICAL) (光デジタル出力) 端子 (1)	
内容品	12ページをご覧ください。	

AV MULTI OUT (AVマルチ出力) に含まれるRGB出力はSCARTコネクター方式に準拠しています。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

別売り品

アナログコントローラ (DUALSHOCK 2)	SCPH-10010
"PlayStation 2"専用メモリーカード (8MB)	SCPH-10020
AVケーブル (映像/音声一体型)	SCPH-10030
"PlayStation 2"専用縦置きスタンド	SCPH-10040
電源コード	SCPH-10050
S端子ケーブル	SCPH-10060
RFUアダプターキット	SCPH-10070
"PlayStation 2"専用マルチタップ	SCPH-10090
"PlayStation 2"専用コンポーネントAVケーブル	SCPH-10100
"PlayStation 2"専用横置きスタンド	SCPH-10110
AVアダプター (S映像出力端子付き)	SCPH-10130
携帯電話接続ケーブル (ドコモ iモード携帯電話対応)	SCPH-10180
携帯電話接続ケーブル (ドコモ iモード携帯電話対応) (携帯編集同梱)	SCPH-10180 K
"PlayStation 2"専用縦置きスタンド (ハードディスクドライブ (外付型) 対応)	SCPH-10220
USBキーボード ("PlayStation 2"対応)	SCPH-10240
"PlayStation 2"専用D端子ケーブル (音声出力端子付き)	SCPH-10330
"PlayStation 2"専用ネットワークアダプター (Ethernet) (EXPANSION BAYタイプ)	SCPH-10350
"PlayStation BB Unit" (EXPANSION BAYタイプ 40GB)	SCPH-10400
"PlayStation 2"専用DVDリモートコントローラ	SCPH-10420
"PlayStation 2"専用ハードディスクドライブ (EXPANSION BAYタイプ 40GB)	SCPH-20401

別売り品 ("PlayStation"規格ソフトウェア専用)

メモリーカード	SCPH-1020 HI
マルチタップ	SCPH-1070 H

保証について

保証書

- この製品の保証書は、外箱に印刷されています。**「箱は捨てないでください」(11ページ) をお読みのうえ、大切に保管してください。**
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 保証規定については、付属のサービスのしおりをご覧ください。

免責

当社が別途認める場合のほか、法律の規定により免責が認められない場合を除いて、当社はこの製品の故障などによってお客様が被った損害・費用に対して、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

アフターサービス

- 本機の調子が悪いときは、「故障かな？と思ったら」(48ページ) をご覧になってお調べください。
- 付属のサービスのしおりは、修理の出しかたと保証規定が記載されている重要なものです。大切に保管してください。

故障かな？と思ったら

もう一度ご確認ください

- 本機の調子がおかしいときは、修理に出す前に以下の項目をもう一度点検してください。
それでも正常に動作しないときは、インフォメーションセンターにご連絡ください。
また、当社ホームページのサポートページ（http://www.playstation.jp/info/）もあわせてご覧ください。
- テレビと本体の電源コードは差し込まれているか、またテレビ（ビデオ）と本体、本体と付属品が正しく接続されているかをもう一度ご確認ください。
（14ページ）

電源

電源が入らない。

➡ 電源コードがしっかり差し込まれていない。

➡ 主電源が入っていない。
本体背面のMAIN POWERスイッチで電源を入れてください。

主電源を入れると、本体から大きな音がする。

➡ 本体背面の通風孔（ファン）がふさがっている。
通風孔をふさがないでください。（7ページ）

画像

画像が出ない。

➡ 本体とテレビ（ビデオ）がAVケーブル（映像/音声一体型）でつながっていない。（14ページ）

➡ 本体とテレビ（ビデオ）の電源が入っていない。

➡ テレビ（ビデオ）の入力切り換えが、「ビデオ（本体をつないだ端子名）」になっていない。

➡ AVケーブル（映像/音声一体型）が奥まで差し込まれていない。

➡ 本機で使用できるディスクが入っていない。（10ページ）

➡ ディスクを入れるとき、ディスクレーベルのある面を上にしていない。（ディスクレーベルのあるディスクの場合）

➡ ディスクがずれて入っている。

➡ 停止になっている。（DVDビデオ）

➡ 接続しているケーブルに問題がある。
お手持ちの他のケーブルに交換してお試しください。

画像が乱れる。

➡ 本体を不安定な場所に置いている。
平らでぐらつかないところに置いてください。また、本体をゆらさないでください。（7ページ）

➡ ディスクに汚れや傷がある。
ディスクに汚れがあるときは、クリーニングしてください。（11ページ）

➡ ディスクに結露が起きている。（11ページ）

➡ 接続しているケーブルにあった設定がされていない。
"PlayStation 2"専用コンポーネントAVケーブル、"PlayStation 2"専用D端子ケーブル（音声出力端子付き）またはマルチAVケーブルを使って接続しているときは、コンポーネント映像出力の設定をする必要があります。
それぞれの接続にあった設定をしてください。
（15～16ページ）

DVDビデオを再生すると、画像が出ない、乱れる。

➡ 本機を、別売りのマルチAVケーブル（VMC-AVM250*）を使って、RGB入力のみ対応したAVマルチ入力端子のあるテレビに接続している。
RGB入力のみ対応したAVマルチ入力端子のあるテレビで、DVDビデオをご覧になるときは、付属のAVケーブル（映像/音声一体型）など、別売りのマルチAVケーブル（VMC-AVM250*）以外の"PlayStation 2"に対応したケーブルをお使いください。マルチAVケーブルで接続すると、DVDビデオが正常に映りません。詳しくは、「AVマルチ入力端子のあるテレビにつなぐ」（16ページ）をご覧ください。
＊VMC-AVM250はソニー株式会社の商品です。

➡ 設定があっていない。
"PlayStation 2"専用コンポーネントAVケーブルまたは"PlayStation 2"専用D端子ケーブル（音声出力端子付き）を使って接続しているときは、コンポーネント映像出力を「Y Cb/Pb Cr/Pr」に設定する必要があります。
（15～16ページ）

➡ 本体をビデオデッキを経由してテレビに接続したり、ビデオ一体型テレビに接続している。
一部のDVDビデオに使用されているコピープロテクション信号によって、画像が乱れたり、明るくなったり、暗くなったりすることがあります。DVDビデオを楽しむ場合は、本体を直接テレビにつないでください。（14ページ）

➡ プログレッシブ（525p）方式に対応していないテレビとつないでいたり、別売りの"PlayStation 2"専用コンポーネントAVケーブル（SCPH-10100）や"PlayStation 2"専用D端子ケーブル（音声出力端子付き）（SCPH-10330）以外のケーブルで接続しているときに、「画面設定」の「プログレッシブ」を「入」に設定している。
DVDビデオをディスクトレイに入れた状態で本体前面の⏻/RESETボタンを押してリセットし、すぐにアナログコントローラ（DUALSHOCK 2）*のSTARTボタンを押したままにしてください。「プログレッシブ」が「切」に戻り、DVDビデオの画像が正常に表示されるようになります。また、「本体設定をする（本体設定画面）」の「プログレッシブ設定解除」からも設定を解除できます。（21ページ）
* アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）は、必ずコントローラ端子1に接続してください。

➡ プログレッシブ（525p）方式に対応しているテレビにつないでいても、設定画面の「画面設定」の「プログレッシブ」を「入」に設定すると画像が乱れることがある。
「プログレッシブ」を「切」に設定してください。（43ページ）

DVDビデオのワイド画像を再生したとき、再生画像の形をテレビに合わせて変更できない。

➡ 画像の形を変更できないディスクを再生している。
➡ 本体からの映像出力をテレビに直接つないでいない。
（本体とテレビの間にセレクターやAVアンプなどをつないでいる。）
➡ テレビによっては、画像の形を変更できないものもあります。

DVD-RW（VRモード）を再生中に、「再生が制限されているため再生できません。」と画面に表示され、テレビ画面がブルー画になる。

➡ CPRM対応のDVD-RWディスクに「一回だけ録画可能」の映像を記録した部分は再生できません。（10ページ）

音声

音声が出ない。

➡ 本体とテレビ（ビデオ）がAVケーブル（映像/音声一体型）でつながっていない。（14ページ）
➡ 本体とテレビ（ビデオ）の電源が入っていない。
➡ テレビ（ビデオ）の入力切り換えが、「ビデオ（本体をつないだ端子名）」になっていない。
➡ テレビの音量が適当でない。または「消音」を選んでいる。
➡ AVケーブル（映像/音声一体型）が奥まで差し込まれていない。
➡ 本機で使用できるディスクが入っていない。（10ページ）
➡ ディスクを入れるとき、ディスクレーベルのある面を上にしていない。（ディスクレーベルのあるディスクの場合）
➡ アンプの入力端子を間違えている。
お使いのアンプの取扱説明書もあわせてご覧ください。
➡ スピーカーをアンプに正しくつないでいない。
接続を確認してください。お使いのアンプの取扱説明書もあわせてご覧ください。
➡ アンプの入力切り換えが、本体の音声が出るように（本体をつないだ端子名に）なっていない。
お使いのアンプの取扱説明書もあわせてご覧ください。
➡ 一時停止になっている。
➡ 可変サーチ／スロー再生になっている。（DVDビデオ）
➡ 本体をデジタル端子付きのオーディオ機器につないだとき、システム設定を正しく行っていない。（17ページ）
➡ 接続しているケーブルに問題がある。
お手持ちの他のケーブルに交換してお試しください。
➡ 音楽CDまたはDVDビデオのDTS音声を再生している。
DTSデコーダー内蔵のオーディオ機器につないでいないときは、DTS音声を再生しないでください。
（音楽CD　28ページ）
（DVDビデオ　29ページ）
➡ "PlayStation 2"規格ソフトウェアの一部には、DIGITAL OUT（OPTICAL）（光デジタル出力）端子からの音声出力に対応していないものがあり、その場合オーディオ用光デジタル接続コードで接続しても音声が出力されません。そのようなソフトウェアの音声を楽しむには、本機と音響機器を付属のAVケーブル（映像/音声一体型）などのアナログ音声出力端子で接続する必要があります。

音声が乱れる、雑音が多い。

➡ 本体を不安定な場所に置いている。
平らでぐらつかないところに置いてください。また、本体をゆらさないでください。（7ページ）
➡ ディスクに汚れや傷がある。
ディスクに汚れがあるときは、クリーニングしてください。（11ページ）
➡ ディスクに結露が起きている。（11ページ）
➡ 音楽CDまたはDVDビデオのDTS音声を再生している。
DTSデコーダー内蔵のオーディオ機器につないでいないときは、DTS音声を再生しないでください。
（音楽CD　28ページ）
（DVDビデオ　29ページ）

故障かな？と思ったら（つづき）

DVDビデオで、ドルビーデジタルの音声トラックを再生しているのにサラウンド効果がかからない。

➡ スピーカーの設定が正しくない。
お使いのアンプの取扱説明書をご覧ください。
➡ ドルビーデジタルのディスクでも、5.1chすべてから出力されないもの（モノラルやL、Rステレオなど）もあります。
➡ サラウンド効果を楽しむためには、光ケーブルでドルビーデジタルに対応したアンプに接続する必要があります。（17ページ）
➡ DVDプレーヤーの「オーディオ設定」の「音声デジタル出力」の「ドルビーデジタル」の設定が「入」になっていない。（46ページ）

DVDビデオで、センタースピーカーからしか音が出ない。

➡ ディスクによってはセンタースピーカーからしか音が出ないものもあります。

操作一般

コントローラの操作がきかない。

➡ コントローラが本体につながっていない。
➡ アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）、アナログコントローラ（DUALSHOCK）のモードが、ソフトウェアの指定モードに合っていない。（24ページ）
➡ 接続しているコントローラに問題がある。
お手持ちの他のコントローラに交換してお試しください。

ゲーム（DVDビデオ、音楽CD）が始まらない、途中で止まる。

➡ 本機で使用できるディスクが入っていない。（10ページ）
➡ ディスクを入れるとき、ディスクレーベルのある面を上にしていない。（ディスクレーベルのあるディスクの場合）
➡ ディスクがずれて入っている。
➡ ディスクに汚れや傷がある。
ディスクに汚れがあるときは、クリーニングしてください。（11ページ）
➡ ディスクに結露が起きている。（11ページ）
➡ ファイナライズされていないDVD-RやDVD-RWを再生しようとしている。（10ページ）

"PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）またはメモリーカードが認識またはセーブ（記録）できない。

➡ "PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）またはメモリーカードが本体にしっかり差し込まれていない。
➡ ゲームの指示通りに操作していない。
ソフトウェアの解説書などをご覧ください。
➡ "PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）またはメモリーカードに空き容量がない。（26ページ）
➡ 使用しているソフトウェアに対応したカードが差し込まれていない。（26ページ）
➡ "PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）またはメモリーカードに問題がある。
お手持ちの他の"PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）またはメモリーカードに交換してお試しください。

正常に動作しない。

➡ 静電気などの影響で正常に動作しなくなったときは、電源コードを抜き差しして、もう一度動作させてください。

本体前面の⏻ランプが赤く点滅し、操作ができない。

➡ 異常に高温な場所で使用したり、本体の通風孔をふさいだ状態で使用したため、本体内部が異常に熱くなっている。
⏻ランプが赤く点滅して、すべての操作が無効になります。⏻ランプが点滅しなくなるまで放置してください。

ディスクトレイが開かない。

➡ 電源コードがしっかり差し込まれていない。
➡ 主電源が入っていない。
本体背面のMAIN POWERスイッチで電源を入れてください。

"PlayStation 2"規格ソフトウェアを使って遊ぶと、本体から音や振動がする。

➡ "PlayStation"規格ソフトウェアに比べ、高速回転で読み込むため、振動や音が大きくなります。

DVDビデオの操作

再生がディスクの最初から始まらない。

➡ 「つづき再生」になっている。
停止中に、停止ボタンを押してから再生を始めてください。（33ページ）

➡ 自動的にメニュー画面に入るディスクを入れている。

DVDビデオのタイトルを選択しても、再生が始まらない。

➡ 視聴年齢制限機能が働いている。（44ページ）

➡ 本機で再生できない地域番号のDVDビデオを入れている。（10ページ）

停止、可変サーチ、スロー再生、プログラム再生、シャッフル再生、リピート再生などの操作ができない。

➡ 操作を禁止しているディスクを再生している。

音声言語を変更できない。

➡ 再生しているディスクに複数の音声言語が記録されていない。

➡ 音声言語の切り換えを禁止しているディスクを再生している。

字幕を変更できない。

➡ 再生しているディスクに複数の字幕が記録されていない。

➡ 字幕の切り換えを禁止しているディスクを再生している。

字幕を消すことができない。

➡ 字幕表示を消すことを禁止しているディスクを再生している。

アングルを変更して見ることができない。

➡ 再生しているディスクに複数のアングルが記録されていない。

➡ アングルの変更を禁止しているディスクを再生している。

P LIST が選択できない。

➡ DVD-RW（VRモード）のディスクが入っていない。（33ページ）

お客様の個人情報のお取り扱いについて

（発行日： 2002年6月5日）

1．情報の使用目的について

ご提供いただきました氏名・住所・アンケートまたはお客様カルテのお答えなどの個人情報(以下個人情報)は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントにて下記の目的に使用させていただきます。下記以外の目的で個人情報を使用する際には、改めて目的をお知らせし、お客様の同意をいただきます。

＜ご愛用者カード＞

- 今後の商品企画の参考
- 当社の商品・サービスに対するご意見やご感想の提供のお願い
- 商品および販売企画上の統計資料の作成

＜保証書／お客様カルテ／インフォメーションセンターへのお問い合わせ＞

商品の修理などのアフターサービス

2．情報の保管について

第三者がお客様の個人情報に触れることがないよう、合理的な管理体制のもとで保管いたします。なお、個人情報は当社が必要と判断する期間、保管させていただきます。

3．情報の開示について

下記の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に開示することはありません(お客様個人を特定できない統計資料は除く)。

（1）お客様にお知らせした使用目的のために、事業協力会社に対する開示が必要な場合（この場合、当該協力会社に対して、当該個人情報の厳重な管理を求め、目的以外の使用を行わせないようにいたします。なお、ご愛用者アンケートの集計、商品の修理および修理品の配送に当たり、協力会社に業務を一部委託しております。）

（2）司法機関または行政機関から法的義務を伴う要請を受けた場合

4．問い合わせ及びその他のご連絡

ご提供いただいたお客様の個人情報の照会・修正・削除を希望される場合またはご意見やご感想の提供のお願い(追加アンケートなど)の送付を希望されない場合は、下記の窓口までご連絡ください。速やかに対応させていただきます。

本規定は、改善のため予告なく変更される場合があります。最新の情報については下記の窓口までご連絡ください。

〈個人情報のお問い合わせ先〉

株式会社 ソニー・コンピュータエンタテインメント

インフォメーションセンター

TEL　0570-000-929 （PHSの場合　03-3475-7444）

受付時間　10:00～18:00

12才までのお子さまへ

修理についてでんわをかけるときは、ほごしゃのかたといっしょにかけてください。

ご愛用者カード、お客様カルテ、保証書もほごしゃのかたといっしょにかいてください。

本機は国内専用品です。
DVDビデオを本機で再生して他機で録画する場合、録画動作が停止され、又は録画が制限されることがあります。これはDVDビデオに施されたコピープロテクションによるものです。このコピープロテクションを改変し、又は除去してDVDビデオを録画することは、私的使用のためであっても、法律により禁止されています。

本機にはアクセスコントロールが施されています。DVDビデオ及び音楽CDを除く非専用ソフトウェア、並びに専用ソフトウェアの複製物は、本アクセスコントロールにより本機において使用することができません。本アクセスコントロールの無効化装置若しくはプログラム又は本無効化装置を組み込んだ本機を譲渡し、引き渡し、展示し、輸出し、輸入し、又は送信することは、法律により禁止されています。

- 本機は対戦ケーブル（SCPH-1040）をサポートしておりません。
- 一部の"PlayStation"規格ソフトウェアは、本機上では"PlayStation"上と異なった動作をする場合があります。
  タイトル毎の状況の詳細につきましては、当社ホームページのサポートページ（http://www.playstation.jp/info/）をご覧いただくか、インフォメーションセンターにお問い合わせください。
- 本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
  なお、本文中では™、®マークは明記していません。

お客様にご提供いただく個人情報のお取り扱いにつきましては、本書の「お客様の個人情報のお取り扱いについて」（52ページ）をご覧ください。

株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント
〒107-0062　東京都港区南青山2丁目6番21号

Info
株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント　インフォメーションセンター
URL　http://www.playstation.jp/info/
TEL　0570-000-929（PHSの場合 03-3475-7444）　受付時間10:00～18:00

お客様にご提供いただく個人情報のお取り扱いにつきましては、本書の「お客様の個人情報のお取り扱いについて」をご覧ください。

株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント
オフィシャルホームページ www.scei.co.jp

Printed in China